Panasonic

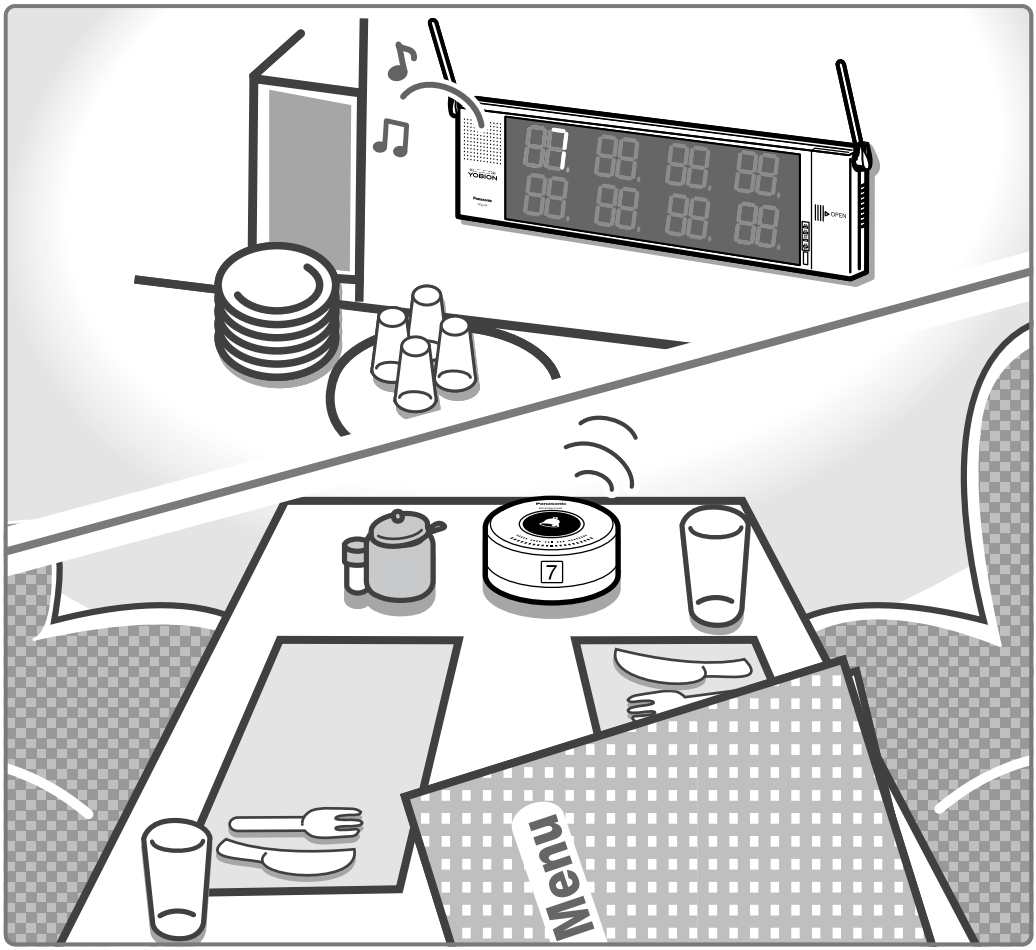
取扱説明書

ワイヤレスサービスコール
YOBION

# 小電力型ワイヤレス サービスコール（マルチタイプ）

保証書別添付　施工説明書別添付

●このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
**ご使用前に「安全上のご注意」（1ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



# 安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

**■誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。 |
| ⚠注意 | 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。 |

**■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)**

| | | | |
|---|---|---|---|
| | してはいけない内容です。 | | 実行しなければならない内容です。 |

**■受信器**

**⚠警告**

分解禁止

**絶対に分解したり、修理・改造しない。**
感電の原因となります。

**■受信器に電源コードを使用する場合**

**⚠警告**

ぬれ手禁止

**電源プラグをぬれた手で抜き差ししない。**
感電の原因となります。

禁止

**電源コードは、引っ張ったり、たばねて使用しない。**
発熱するおそれがあり、火災や焼損の原因となります。

電源プラグを抜く

**万一、異常が発生したら電源プラグを抜く。**
抜かないと、発熱、発火の原因となります。

**⚠注意**

必ず守る

**電源プラグは、定期的に点検を行い、乾いた布などでホコリを取り除く。**
プラグ部分にホコリがたまり、湿気が加わると、発火・焼損の原因となります。

**■発信器・集中発信器・集中操作器・集中消去器**

**⚠注意**

禁止

**新しい乾電池と古い乾電池を混ぜての使用はしない。**
乾電池の破裂や液もれの原因となります。

必ず守る

**壁面に取り付ける場合は、取り付ける壁面の厚み・材質に注意して、確実に固定する。**
固定に不備があると落下によるけがの原因となります。



# もくじ


**<ご使用の前に>**
- 安全上のご注意 …… 1
- ご注意 …… 3〜4
- システム図 …… 5
- 使いかたの流れ(例) …… 6
- 各部のなまえとはたらき …… 7〜20

**<準　備>**
- 周波数チャンネルを確認する …… 22
- 2段表示で使う場合 …… 23
- 乾電池を入れる …… 24〜26
- 発信器にシールを貼る …… 27

**<基本編>**
- 基本編のあらまし …… 30

登録
- 各発信器を番号呼出用に登録する …… 31〜32
- 各発信器を番号呼出用に登録する(2段表示) …… 33〜34
- 集中操作器を番号呼出用に登録する …… 35
- 登録を消去する …… 36〜37

使いかた
- 発信器で呼び出す …… 38
- 受信器に番号が表示される …… 39〜40
- 受信器の番号表示を消去する …… 41〜45
- 報知音/消去音を変更する …… 46
- 音量を変更する …… 47
- 表示窓の明るさを変更する …… 48
- 電池切れの発信器を調べる …… 49

**<応用編>**
- 応用編のあらまし …… 51〜52

登録
- 熱線センサー発信器を来客報知用に登録する …… 53
- 発信器を優先呼出用に登録する …… 54
- 発信器を優先呼出消去用に登録する …… 55
- 発信器を呼出順消去用に登録する …… 56
- 集中操作器を遠隔操作用に登録する …… 57
- スリー発信器を遠隔操作用に登録する …… 58
- 発信器を遠隔操作用に登録する …… 59

使いかた
- 来客を報知する …… 60〜61
- 優先呼出表示について …… 62
- 副表示器について …… 63

**<機能設定>**
- 機能設定(全段表示) …… 65〜70
- 機能設定(2段表示) …… 71〜76
- 仕　様 …… 77〜81
- 保証とアフターサービス …… 82

# ご注意



## 設置場所に関するご注意

■受信器のアンテナは壁面から約30°かたむけて使用してください。電波を受信しやすくなります。

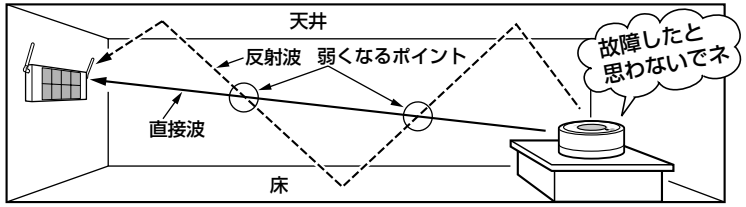
■「受信器と発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」または「ワイヤレス用アンテナと発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、および中継器」の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約100mです。また、「中継器と発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器」の電波の到達距離は、障害物のない場所での水平見通し距離約40mです。（周囲環境により異なります。）

［電波が届きにくい場合は、中継器またはワイヤレス用アンテナをご使用になり、動作を確認してください。］

■下記のような使用環境では、電波（ノイズ）を受けたり電波の到達距離が短くなります。このような場合は動作しないことがありますので注意してください。

- ●機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- ●機器間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- ●機器の周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
- ●金属物の壁面や机などに機器を取り付けている。
- ●操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- ●電子レンジやパソコンなどの家電商品やOA機器が機器の2m以内にある。
- ●機器の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- ●機器の近くで、携帯電話やPHS電話を使用している。
- ●機器の近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
- ●近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電界地域または各種無線局がある。

■到達範囲内でも電波が弱くなるポイントがありますので注意してください。




■設置場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境（電波環境）が変わることがありますので、定期的に動作確認を行ってください。

## 受信表示灯の便利な使い方

発信器を操作していないのに、受信器の受信表示灯が赤色点灯・点滅する場合は、近くにある家電商品やパソコンなどのOA機器からの電波（ノイズ）を受けているか、もしくはトランシーバーや当社および他社の無線商品など、特定小電力無線設備が使用されている可能性があります。このような場合は周波数チャンネルを変更して受信表示灯が点灯・点滅しないようにしてください。

## 使用上のご注意

■故障、破損または動作しない原因となりますので、必ずお守りください。

- ●受信器は、予備電源（バッテリー）を内蔵していませんので、停電の場合、電波が受信できず動作しません。
- ●雨のかかる場所や浴室などの湿度の高い場所で使わないでください。
- ●水をかけないでください。
- ●炊飯器など湯気の出る物を近くに置かないでください。
- ●ストーブなどの高温の物に近づけないでください。
- ●落としたりしないでください。
- ●テレビ、ラジオは、2m以上離してください。
  映像や音声が乱れる場合があります。

■同じ周波数チャンネルであれば、1台の発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器で受信器は何台でも同時に使用することができます。

■2台以上の発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器から同時に電波が送信されると、受信器は動作しないことがありますが、故障ではありません。

■送信電波が医用電気機器に与える影響はきわめて少ないものですが、安全管理のため発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器は医用電気機器から20cm以上離して使用してください。

## 乾電池の寿命

■次のような状態になった発信器の乾電池を2本とも新しい乾電池と交換してください。

- ● 集中発信器、集中消去器、および集中操作器の送信灯が赤色点灯しない。
- ● 受信器に電池切れが近い発信器として番号が表示される。
  受信器には「電池切れ発信器の表示機能」があります。 ☞49ページ

**乾電池寿命**

発　信　器：単4形乾電池×2本
1日40回の使用で約1年（マンガン乾電池使用時）
集中発信器、集中消去器、集中操作器：単3形乾電池×2本
1日300回の使用で約1年（アルカリ乾電池使用時）

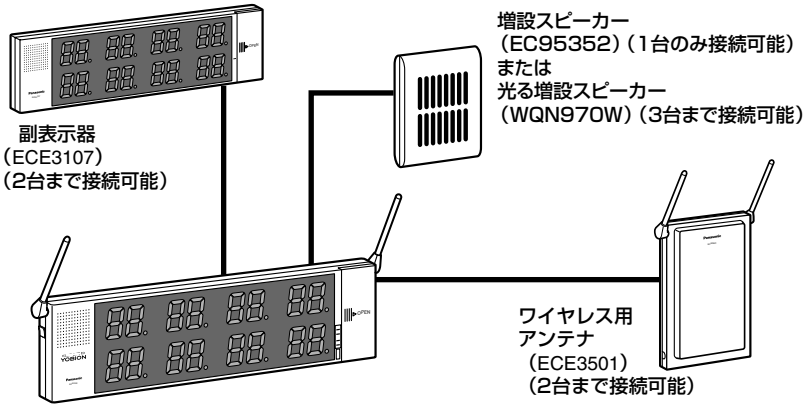
## お手入れについて

■ふだんのおそうじは、やわらかい布でふき取ってください。

■汚れが目立つときは、中性洗剤を薄めた液に、やわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。
（※噴霧式の洗剤は使用しないでください。）

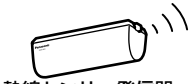
(注) ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

# システム図




注）
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器（ECE品番）も使用できます。
- ワイヤレス中継器も2台まで使用できます。
  （登録、使用方法については中継器の取扱説明書をお読みください。）
- ハイハイ店番（エコー方式）検知器（EL810431）（別売）も接続できます。

電波の到達距離は障害物のない場所での水平見通し距離で約100m


熱線センサー発信器
（ECE1801P）

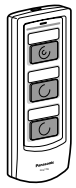
卓上型発信器

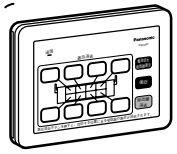
| | |
|---|---|
| ECE3313W | ECE3316W |
| ECE3313H | ECE3316H |
| ECE3313A01 | ECE3316A01 |
| ECE3342□□□ | ECE3346□□□ |
| ECE3332□□□ | ECE3336□□□ |
| ECE3713W | ECE3723W |

（□は色番号＝JO1など）

壁掛型発信器
（ECE3323）

遠隔操作用
集中操作器
（ECE3251）（4台まで使用可能）


スリー発信器
（ECE1703P）


集中発信器
（ECE3201K）
集中消去器
（ECE3206）

合計、最大10台まで使用可能

番号表示用
集中操作器
（ECE3251）

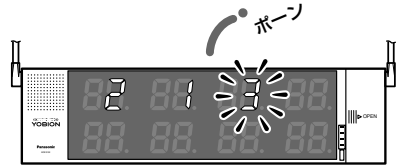
最大4台まで
使用可能

合計、最大120台まで使用可能

# 使いかたの流れ（例）

**1** 〈お客様〉 店員呼出用の発信器を押す

呼出




「2段表示」設定でお使いの場合は、厨房からも店員呼出ができます。
お客様からの呼出を上段、厨房からの呼出を下段に表示し、呼出元を区別できます。

**2** 〈店員〉 呼出を確認し、消去する

消去

**3** お客様のテーブルへ

## ■ご使用の前に

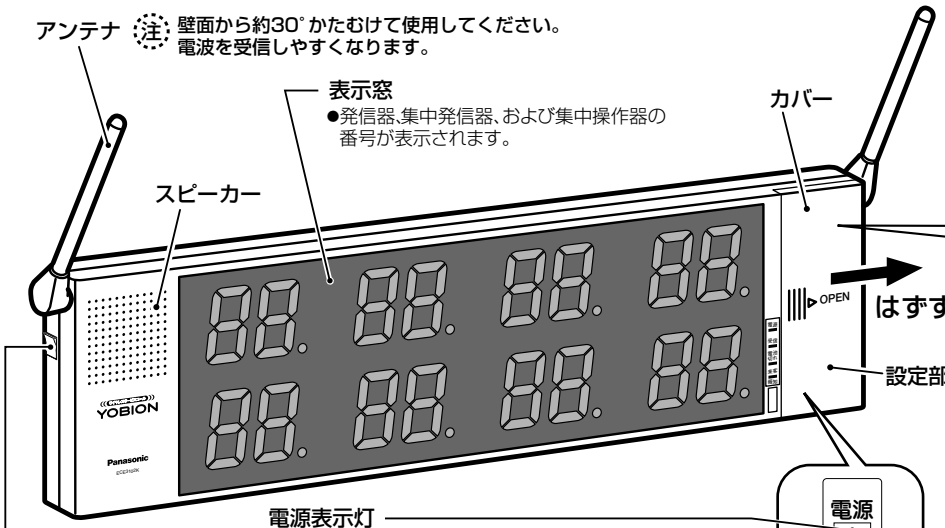
- 小電力型ワイヤレスサービスコールシステムは受信器と発信器、集中発信器、集中操作器、および集中消去器を組み合わせて使用することにより、各発信器からの呼出を受信器側の表示と報知音で知らせるシステムです。
  また、ワイヤレス用アンテナを使用することにより、違うフロアや電波の届きにくい場所でも小電力型ワイヤレスサービスコールシステムを使用できます。
  なお、このシステムは電波法で認められた「特定小電力の無線局（テレメータ用およびテレコントロール用）」です。

**●この商品は一般連絡用ですので緊急連絡用には使用しないでください。**

# 各部のなまえとはたらき



## 小電力型ワイヤレスサービスコール受信器（マルチタイプ）（ECE3102K）




**電源スイッチ**
●電源を「入·切」するときに使用します。

**電源表示灯**
●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

**受信表示灯**
●赤色点灯(約0.5秒)で発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器、およびワイヤレス中継器の電波を受信したことを示します。

注 **発信器を操作していないときに赤色点灯または赤色点滅する場合は、電波妨害を受けていることを示します。**

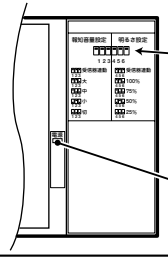
**電池切れ表示灯**
●赤色点灯すると電池切れが近い発信器があることを示します。赤色点滅すると電池切れが近い発信器の番号を表示していることを示します。

注 **消灯のときは電池切れが近い発信器はありません。**

**来客報知表示灯**
●赤色点灯で来客報知「入」状態を示します。(「切」状態は消灯)
赤色点滅で熱線センサー発信器または外部接点入力機器が来客を検知したことを示します。

**来客報知入/切ボタン**
●来客報知を「入·切」するときに使用します。

## 小電力型ワイヤレスサービスコール副表示器（マルチタイプ）（ECE3107）



副表示器にはアンテナはありません。
明るさ、音量を設定スイッチの組み合わせで設定します。
（☞63ページ）

**電源表示灯**
●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

**消去スイッチ**
●登録を消去するときや、設定をクリアするときに使用します。
（ペン先などで押してください。）

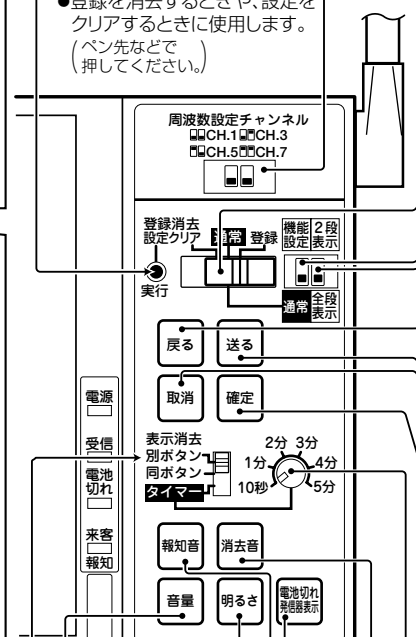
**周波数設定スイッチ**
●周波数を設定するときに使用します。(出荷時:「CH.1」)
（ペン先などで切り替えてください。）

注 **必ずすべてのワイヤレス機器の周波数チャンネルを合わせてください。**

**モード切替スイッチ**
●受信器のモード(状態)を切り替えるときに使用します。
（出荷時：登録モード）

**機能設定スイッチ（左）**
●さまざまな機能を設定するときに使用します。
（出荷時:「通常(📱)」側）

**表示切替スイッチ（右）**
●受信器を2段表示（上段、下段で区別）で使うときに使用します。(出荷時:「全段表示(📱)」側)




**戻るボタン**
●受信器に表示している番号などを戻り表示するときに使用します。

**送るボタン**
●受信器に表示している番号などを送り表示するときに使用します。

**取消ボタン**
●設定を取り消すときなどに使用します。

**確定ボタン**
●設定を確定させるときなどに使用します。

**タイマー**
●表示消去のタイマー時間を設定するときに使用します。

**消去音ボタン**
●表示を消去するときの消去音を変更するときに使用します。

**電池切れ発信器表示ボタン**
●電池切れ表示灯が点滅・点灯時に電池切れが近い発信器を表示させるときに使用します。

**報知音ボタン**
●発信器が押されたときの報知音を変更するときに使用します。

**明るさボタン**
●表示窓の明るさを調整するときに使用します。

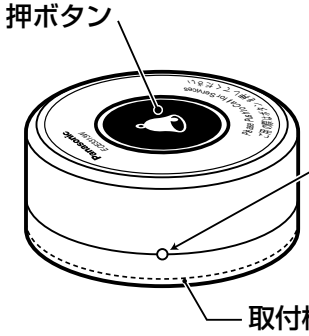
**音量ボタン**
●報知音・消去音の音量を調整するときに使用します。

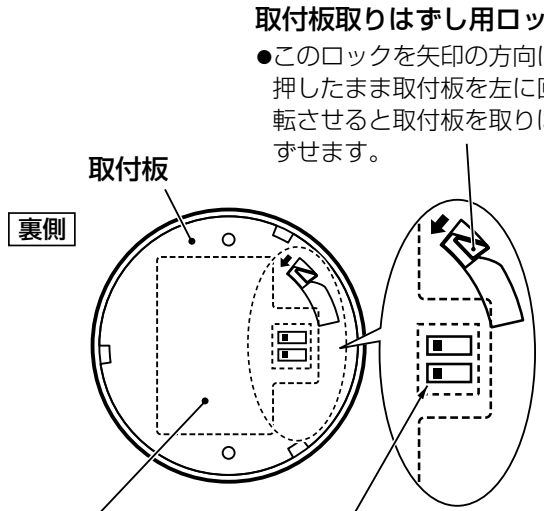
注 **増設スピーカーを接続している場合は、増設スピーカーの音量は変更できません。音量は常に「大」です。**

**表示消去スイッチ**
●受信器の表示の消去方法を選択するときに使用します。(出荷時：別ボタン消去)

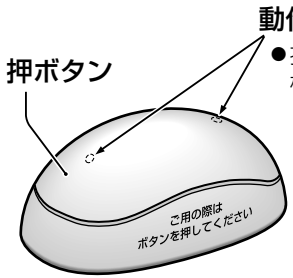
# 各部のなまえとはたらき（つづき）

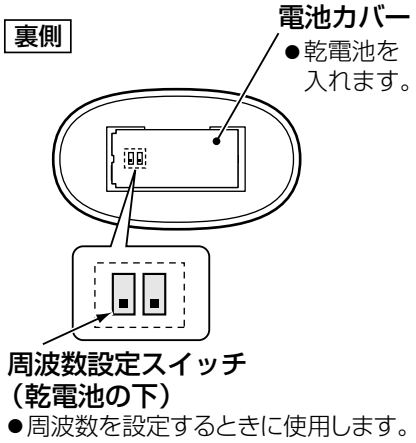
## 小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（ECE3313シリーズ・ECE3316シリーズ）




## 小電力型ワイヤレス発信器ファンシー（ECE3342シリーズ・ECE3346シリーズ）

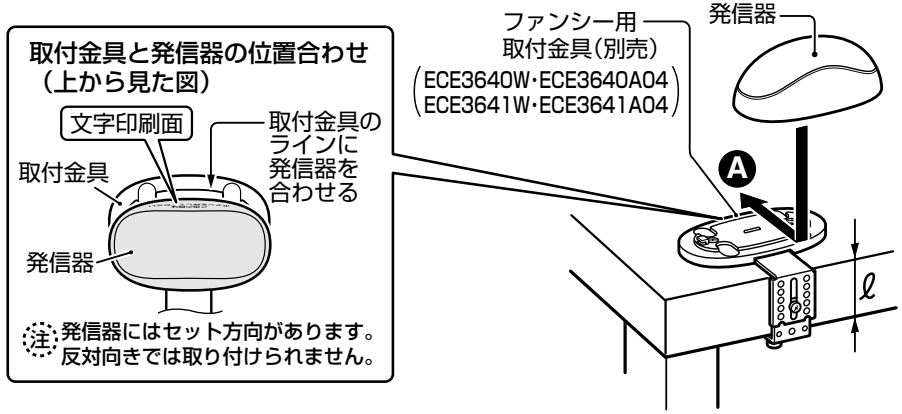



## 取付金具へのセットのしかた

●別売の取付金具を使用して、テーブルなどへ発信器を固定することができます。

**取付金具と発信器の位置を合わせて、Ⓐ の方向に発信器をスライドさせる**

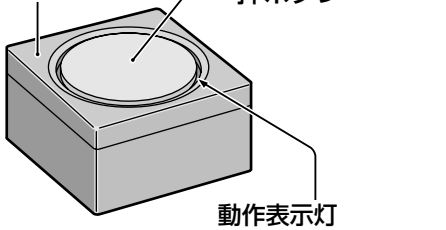


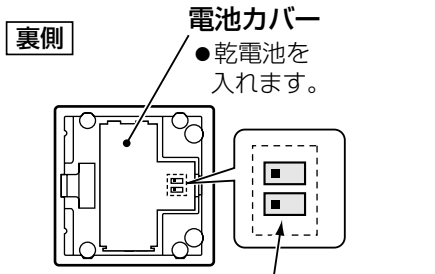

| 発信器の色 | 組み合わせる取付金具 | テーブルの厚み（ℓ） |
|---|---|---|
| ブラウン以外 | ECE3640W | 約12.5mm～44mm |
| ブラウン | ECE3640A04 | |
| ブラウン以外 | ECE3641W | 約44mm～70mm |
| ブラウン | ECE3641A04 | |

# 各部のなまえとはたらき（つづき）



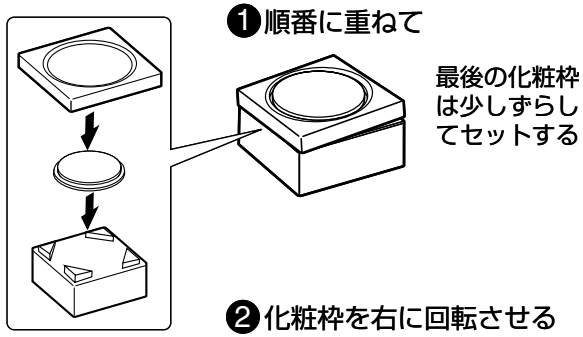
## 小電力型ワイヤレス発信器みやび（ECE3332シリーズ・ECE3336シリーズ）



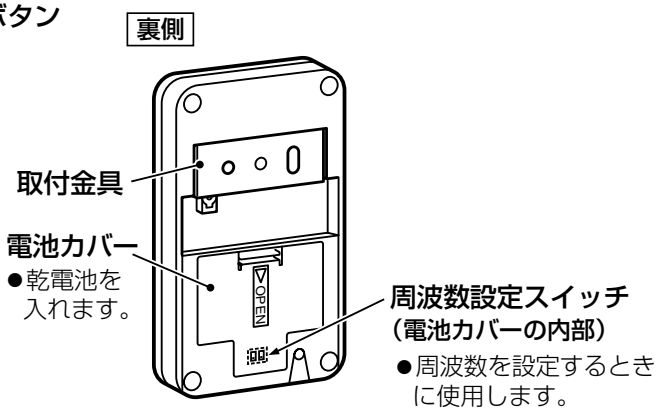




## 化粧枠・押ボタンのセットのしかた

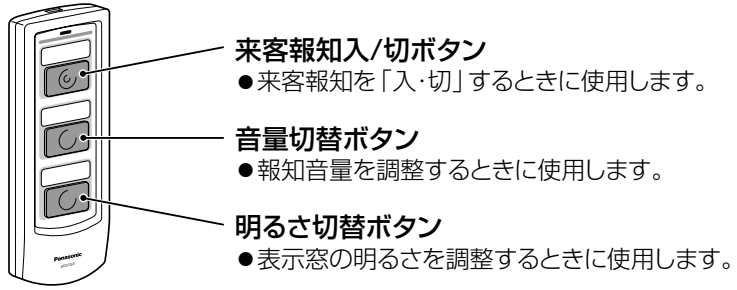
●押ボタン部分は掃除するために、はずれる構造になっています。
清掃後や落下などではずれた場合は、下記にしたがってセットしてください。




## 小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器（ECE3323）




## 小電力型ワイヤレスコールスリー発信器（ECE1703P）




周波数設定スイッチはカバーの内部にあります。（☞カバーのはずしかた26ページ）

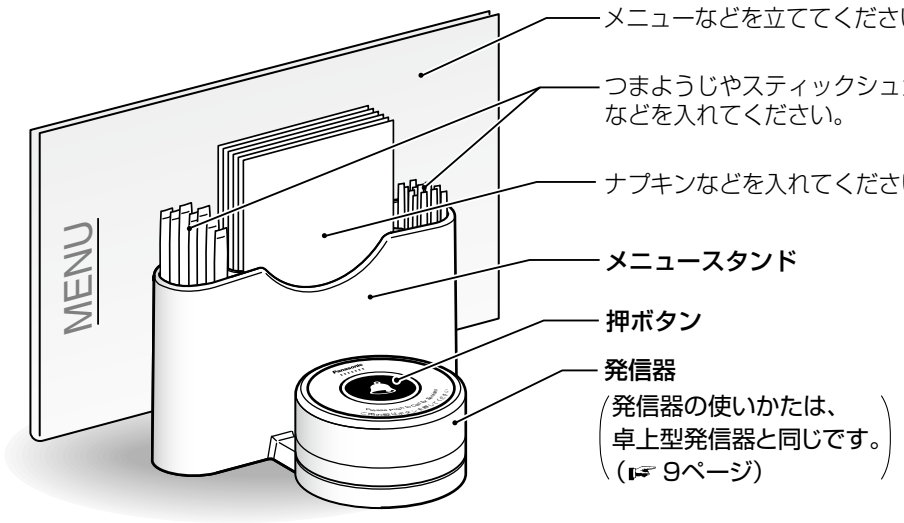
### ■おことわり

●発信器（卓上型·ファンシー·みやび·壁掛型·集中操作器·集中消去器·スリー発信器）は、総務省の技術基準に適合しています。商品に貼り付けられている表示（ ㊣ マーク）は、その証明マークです。表示マークの貼り付けられている商品は総務大臣の許可なしに改造して使用することはできません。

**改造すると法律により罰せられることがあります。**

# 各部のなまえとはたらき（つづき）

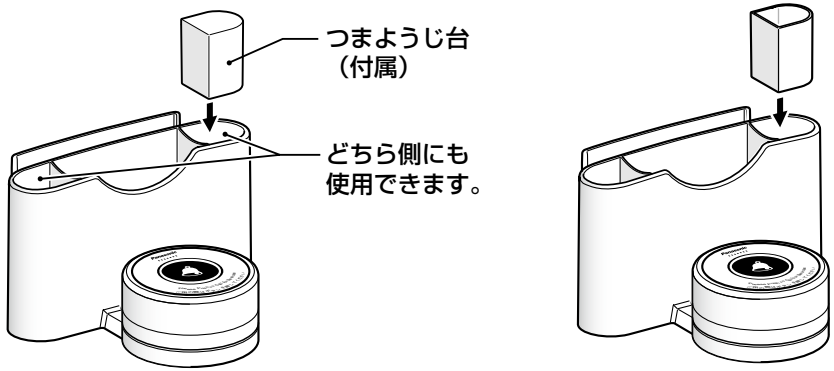
## 小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（メニュースタンド付）（ECE3723W）




## つまようじ台の使いかた

●つまようじなどのように丈が短くメニュースタンドとの高さが合わない場合に、底上げ用の台として使用してください。

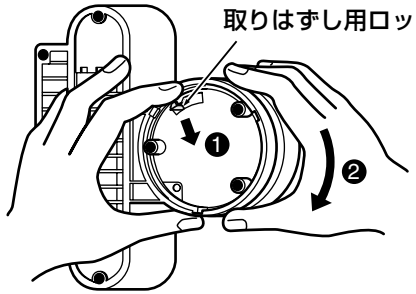
●つまようじ台を底上げ用の台として使用しない場合は、底上げ使用時と逆にしてはめ込んでいただくと、高さを変えずに使用することができます。




## 発信器のはずしかた

❶取りはずし用ロックを押しながら

❷発信器を左に回す




メニュースタンド裏面

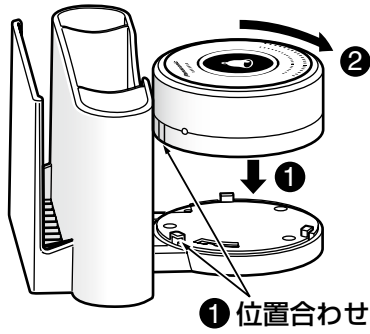
注

解除ボタンを先の細いもので押しながら、発信器を左に回転させてはずすこともできます。

## 発信器のセットのしかた

❶位置合わせマークを合わせる

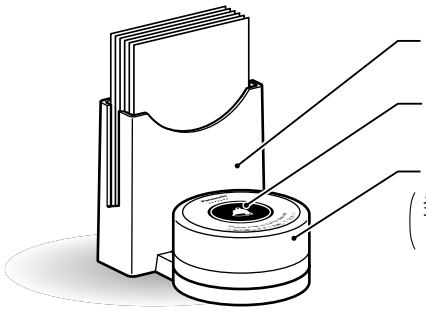
❷発信器を「カチッ」と音がするまで右へ回す



# 各部のなまえとはたらき（つづき）



## 小電力型ワイヤレスサービスコール 卓上型発信器（ナプキンスタンド付）（ECE3713W）



**ナプキンスタンド**

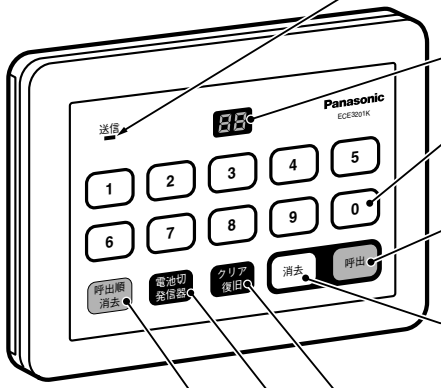
**押ボタン**

**発信器**

（発信器の使い方は、卓上型発信器と同じです。（☞ 9ページ））

●発信器のはずしかた、セットのしかたについては、メニュースタンドと同じです。（☞ 14ページ）

## 小電力型ワイヤレスサービスコール集中発信器（ECE3201K）




**送信灯**

●呼出ボタンまたは消去ボタンが押されたときに赤色点灯します。

**表示灯**

●押された番号を表示します。

**番号押ボタン**

●呼び出す番号を押します。

**呼出ボタン**

●番号を呼び出します。

**消去ボタン**

●受信器、副表示器の表示を消去します。

注 **発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器の登録を消去するボタンではありません。**

**呼出順消去ボタン**

●受信器、副表示器の番号の表示を呼び出した順に消去します。

（番号順表示設定時は、最先着表示灯が点灯している番号を消去します。）

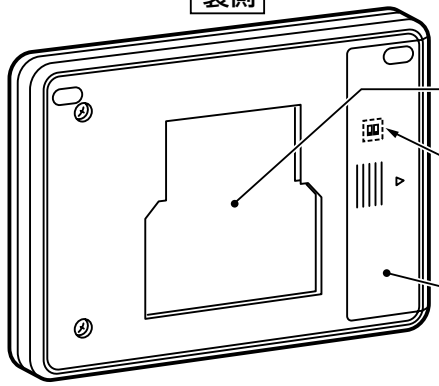
**クリア/復旧ボタン**

●操作をやり直すときに使用します。

**電池切れ発信器表示ボタン**

●受信器の電池切れ表示灯が点滅・点灯時に、電池切れが近い発信器を表示させます。

**裏側**



**取付金具差し込み口**

**周波数設定スイッチ（電池カバーの内部）**

●周波数を設定するときに使用します。

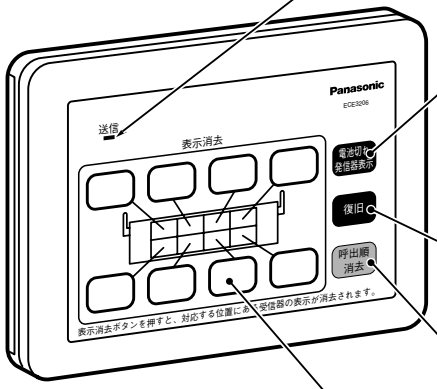
**電池カバー**

●乾電池を入れます。

# 各部のなまえとはたらき（つづき）



## 小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器（ECE3206）




**送信灯**
●消去ボタンが押されたときに赤色点灯します。

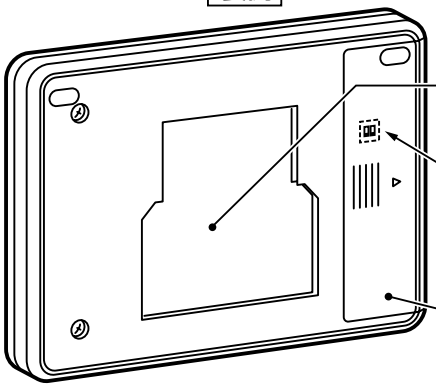
**電池切れ発信器表示ボタン**
●受信器の電池切れ表示灯が点滅・点灯時に、電池切れが近い発信器を表示させます。

**復旧ボタン**
●操作をやり直せます。

**呼出順消去ボタン**
●受信器、副表示器の番号の表示を呼び出した順に消去します。
（番号順表示設定時は、最先着表示灯が点灯している番号を消去します。）

**消去ボタン**
●受信器、副表示器の表示を消去します。

裏側

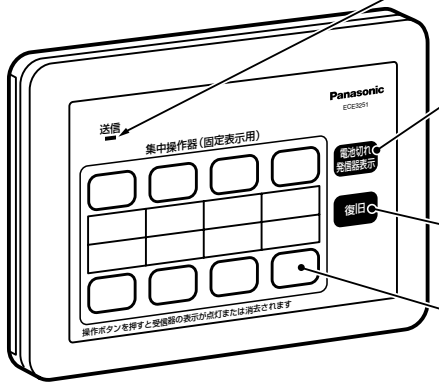


**取付金具差し込み口**

**周波数設定スイッチ（電池カバーの内部）**
●周波数を設定するときに使用します。

**電池カバー**
●乾電池を入れます。

## 小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器（固定表示タイプ用）（ECE3251）



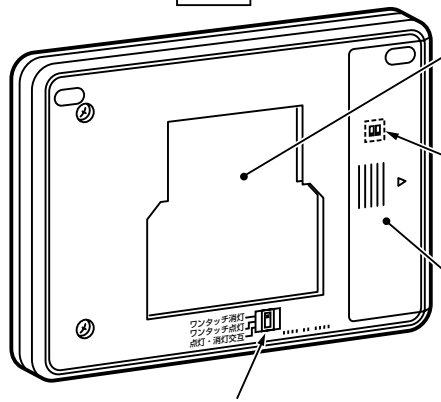

**送信灯**
●操作ボタンが押されたときに赤色点灯します。

**電池切れ発信器表示ボタン**
●受信器の電池切れ表示灯が点滅・点灯時に、電池切れが近い発信器を表示させます。

**復旧ボタン**
●操作をやり直せます。

**操作ボタン**
●受信器、副表示器の表示を点灯させます。

裏側




**取付金具差し込み口**

**周波数設定スイッチ（電池カバーの内部）**
●周波数を設定するときに使用します。

**電池カバー**
●乾電池を入れます。

**動作切替スイッチ**

**ワンタッチ点灯に切り替えて使用してください。**

注 このシステムでは、ワンタッチ消灯、点灯・消灯交互では正常に動作しません。（出荷時は、ワンタッチ消灯です。）

次ページに続く

# 各部のなまえとはたらき（つづき）

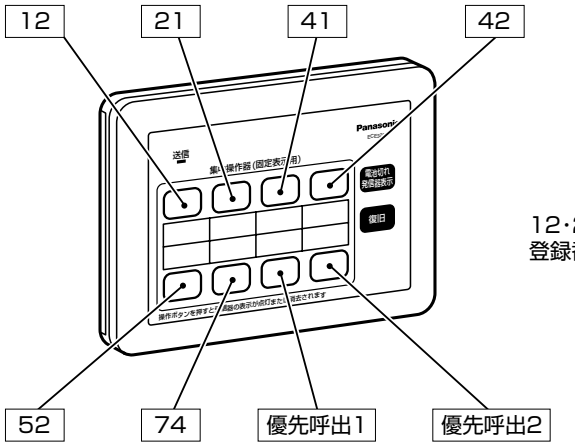


## ■集中操作器の使いかた

**〈番号呼出用登録時〉**

各操作ボタンにお好みの番号（1～99、優先呼出1～8）を登録できます。

**2段表示** 上段用（1～99）、下段用（1～99）、優先呼出（1～8）の番号を8つのボタンに自由に割り当てることができます。

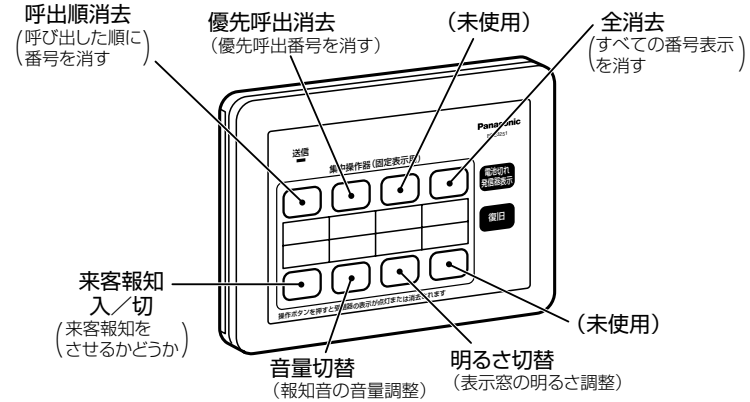



12･21･41などは
登録番号の例です。

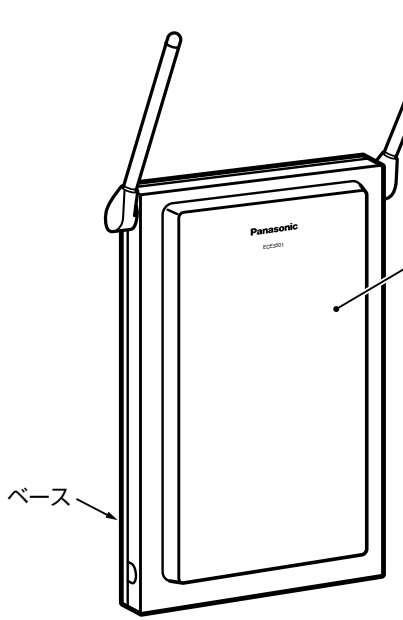
**〈遠隔操作用登録時〉**

各操作ボタンで以下の機能の切り替えができます。

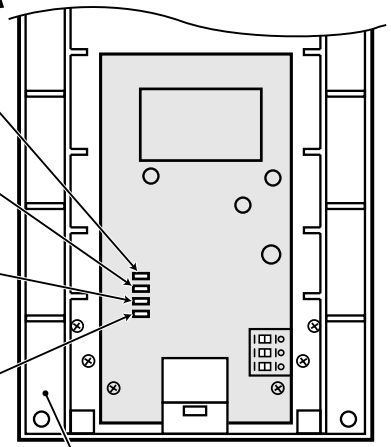
注 **各操作ボタンの役割は固定です。変更はできません。**




## 小電力型ワイヤレス用アンテナ（ECE3501）




**カバーをはずす**




**電源表示灯**

●緑色点灯で電源が入っていることを示します。

**動作表示灯**

●赤色点灯でワイヤレス用アンテナから受信器へ送信していることを示します。

**受信表示灯**

●赤色点灯で発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器の電波を受信したことを示します。

**テレコン表示灯**

●赤色点灯で受信器とワイヤレス用アンテナの接続が正常であることを示します。点灯しない場合は正しく接続されていません。接続し直してください。

# 準　備

まずは、以下の準備を行ってください。


■ **周波数チャンネルを確認する** ☞22ページ

■ **2段表示で使う場合** ☞23ページ

■ **乾電池を入れる** ☞24～26ページ

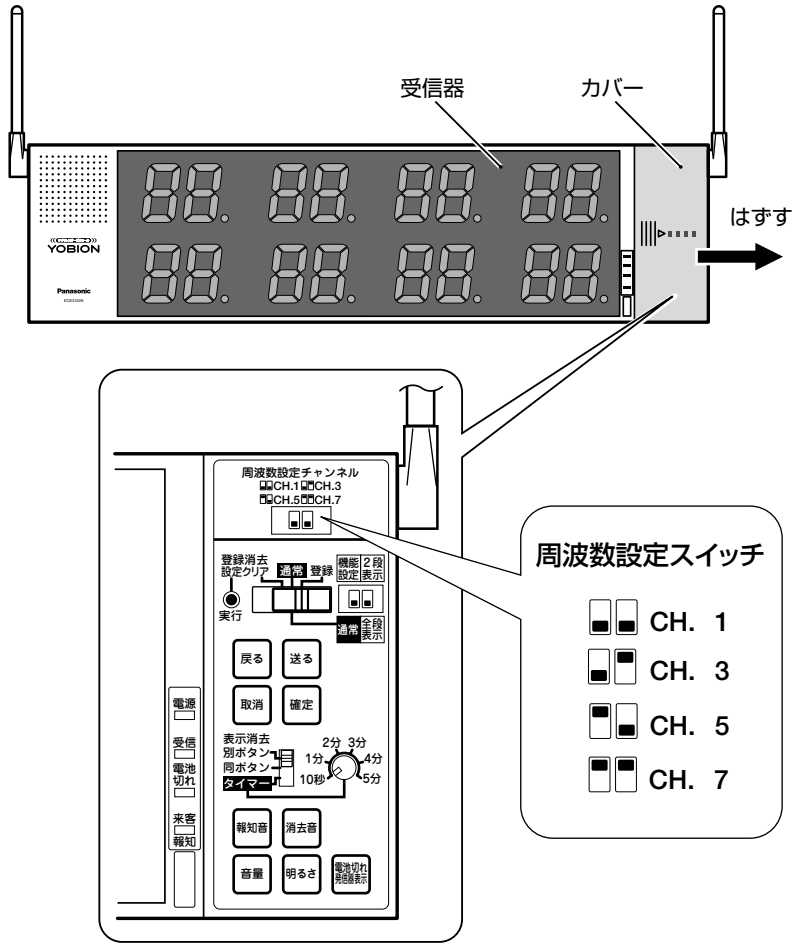
■ **発信器にシールを貼る** ☞27ページ




# 周波数チャンネルを確認する

**すべてのワイヤレス機器の周波数チャンネルが同じであることを確認してください。異なると動作しません。**

● 出荷時はどの機器も「CH.1」に設定されています。

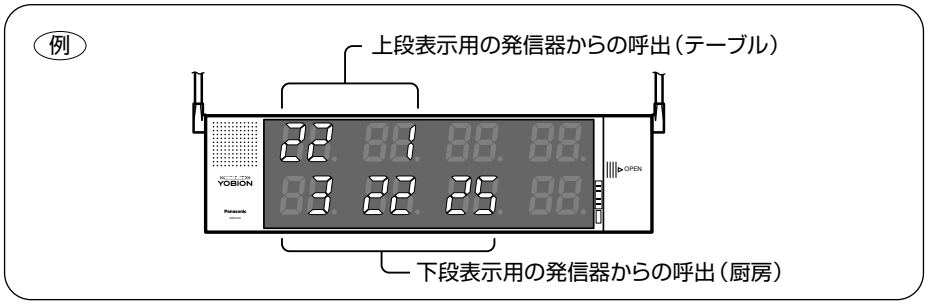


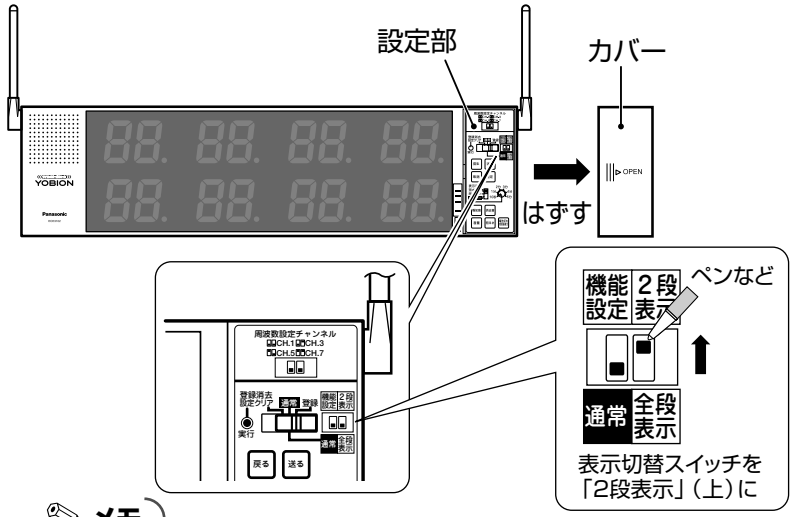

● 発信器、集中発信器、集中消去器、集中操作器の周波数チャンネル位置について
☞ 9～12、16～19ページ

# 2段表示で使う場合

**表示窓を上段、下段で区別して、上段を客席からの呼出、下段を厨房からの呼出などに使うことができます。**

- 2段表示を使うには表示切替スイッチを「2段表示」側に設定する必要があります。




**メモ**

- 登録について ☞33～34ページ
- 2段表示にしても優先呼出表示は下段右下に点滅します。
- 上段、下段とも未表示がある場合は、それぞれに「番号フル表示」が点滅します。☞ 40ページ
- 呼出音や消去音、消去方法は上下段それぞれ個別に設定できます。☞ 71～76ページ



# 乾電池を入れる

**使用するワイヤレス機器のすべてに乾電池（別売）を入れてください。**

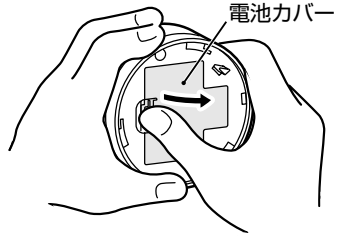
## ■卓上型発信器

### 1 取付板をはずす

- 取付板取りはずし用ロックを押しながら、取付板を左に回転させてはずす。

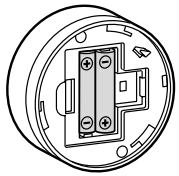
**（注）側面の取付板解除ボタンを押して取りはずすこともできます。**☞9ページ

### 2 電池カバーをはずす



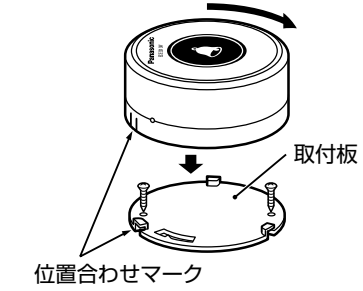

### 3 単4形乾電池2本（別売）を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



### 4 取付板を取り付ける

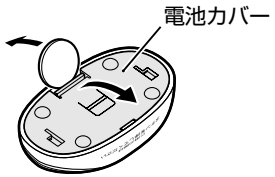
- 発信器本体と取付板の位置合わせマークを合わせ、発信器本体を「カチッ」と音がするまで右へ回転させる。



# 乾電池を入れる(つづき)

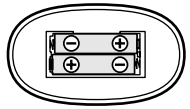
## ■ファンシー

**1** コインなどで電池カバーをはずす



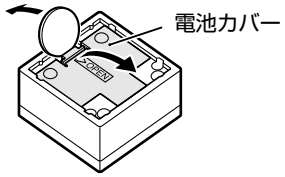

**2** 単4形乾電池2本(別売)を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



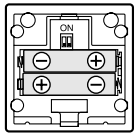
## ■みやび

**1** コインなどで電池カバーをはずす



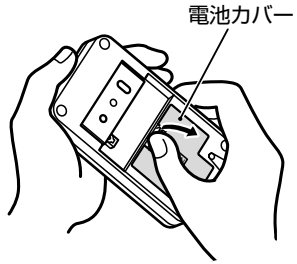

**2** 単4形乾電池2本(別売)を入れる

- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



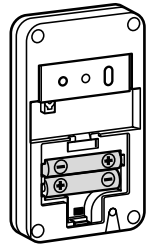
## ■壁掛型発信器

**1** 電池カバーをはずす




**2** 単4形乾電池2本(別売)を入れる

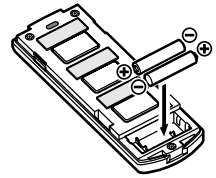
- 極性を間違えないように乾電池を入れて、電池カバーを閉める。



## ■スリー発信器

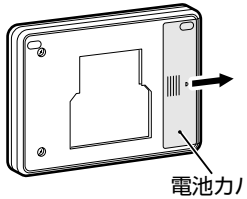
**1** コインなどでカバーをまわしてはずす

**2** 単4形乾電池2本(別売)を入れる

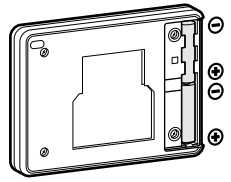


## ■集中発信器、集中消去器、集中操作器

**1** 電池カバーをはずす




**2** 単3形乾電池2本(別売)を入れる



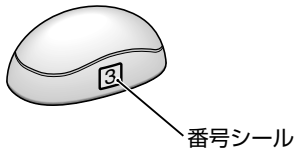
# 発信器にシールを貼る

## ■番号呼出用の発信器に番号シール（受信器に付属）を貼る

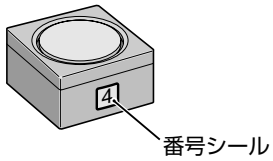
**卓上型発信器**

**壁掛型発信器**

**ファンシー**



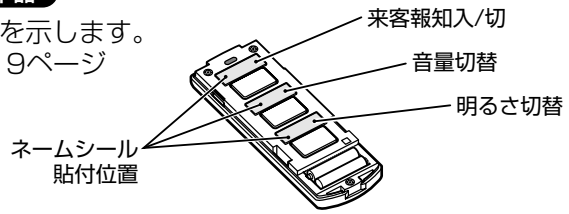

**みやび**




## ■遠隔操作用のスリー発信器・集中操作器に遠隔操作表示ラベル（受信器に付属）を貼る

**スリー発信器・集中操作器**

- 図はスリー発信器を示します。
  集中操作器は☞19ページ






MEMO

# 基 本 編

ワイヤレスサービスコールの基本的な使いかたの説明です。


■ 基本編のあらまし ☞30ページ

登 録

■ 各発信器を番号呼出用に登録する ☞31～32ページ

■ 各発信器を番号呼出用に登録する（2段表示） ☞33～34ページ

■ 集中操作器を番号呼出用に登録する ☞ 35ページ

■ 登録を消去する ☞ 36～37ページ

使いかた

■ 発信器で呼び出す ☞38ページ

■ 受信器に番号が表示される ☞ 39～40ページ

■ 受信器の番号表示を消去する ☞41～45ページ

■ 報知音/消去音を変更する ☞46ページ

■ 音量を変更する ☞47ページ

■ 表示窓の明るさを変更する ☞48ページ

■ 電池切れの発信器を調べる ☞49ページ

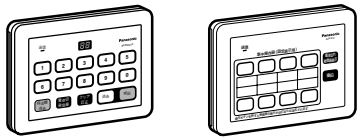



# 基本編のあらまし

「基本編」では、客席や厨房などからの呼出番号を受信器に点灯させ消灯する基本の使いかたを説明します。

## ■ 発信器で番号を呼び出す

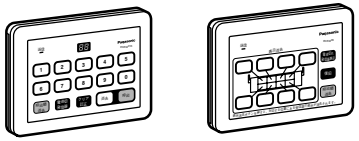
卓上型発信器　壁掛型発信器　熱線センサー発信器



集中発信器　集中操作器

●登録について 全段表示 ☞31～32ページ
2段表示 ☞33～34ページ
●呼出について ☞38ページ

## ■ 発信器で番号表示を消去する



集中発信器　集中消去器

卓上型発信器　壁掛型発信器

●登録について 全段表示 ☞31～32ページ
2段表示 ☞33～34ページ
●消去について ☞41～45ページ

〔卓上型発信器、壁掛型発信器で消去するには、受信器の表示消去スイッチを「同ボタン消去」に設定する必要があります。〕

**お使いになる発信器、集中発信器、集中消去器、および集中操作器などは、すべて受信器に登録する必要があります。**

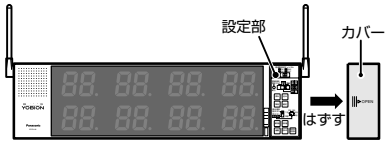
注 **登録しないと使用できません。**

注
- 登録や消去は受信器またはワイヤレス用アンテナの近くで行ってください。
- 登録可能台数について ☞5ページ

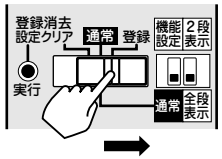
# 各発信器を番号呼出用に登録する

●2段表示設定の場合の登録方法 ☞ 33～34ページ

**受信器のカバーをはずしてください。**

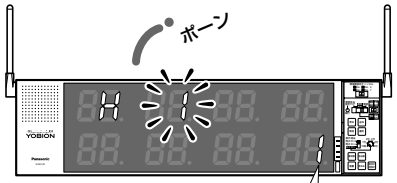



## 1 モード切替スイッチを［登録］側にする




➡表示窓に"H 1"と表示され、番号1への登録状態であることを示します。右下には登録台数が表示されます。未登録の場合には"0"が表示されます。

## 2 発信器（1）の押ボタンを押す




➡「ポーン」と鳴り、1の発信器が「1」で登録されます。

➡表示が"H 2"にくり上がります。

**発信器の登録台数を表示**
上記は番号1に1台発信器が登録されたことを示します。

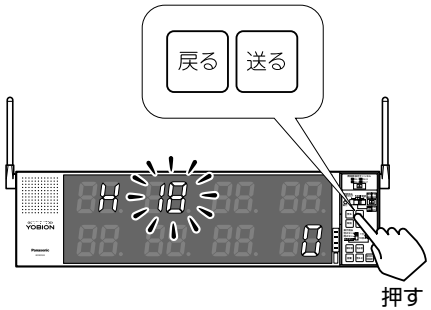
## 3 発信器（2以降）の押ボタンを番号順に押す

➡番号順に登録されていきます。

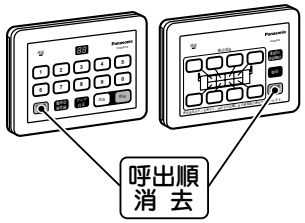
### 登録番号を選択する

登録させる番号を選びたい場合は、戻る 送るボタンを使って、目的の番号を表示させてから発信器の押ボタンを押してください。

●"H1"～"H99"の中から選んでください。

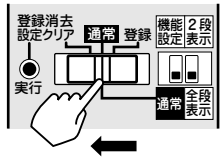



## 4 集中発信器、集中消去器の呼出順消去ボタンを押す




➡他の番号が表示されていても「ポーン」と鳴り、約1秒間"H00"と表示された後、番号表示に戻ります。
（複数台あっても区別なく"H00"で登録されます。）

## 5 登録が終われば モード切替スイッチを［通常］側に戻す



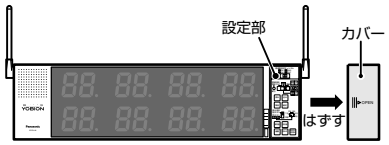

**メモ**

- 発信器などが1台も登録されていない状態でモード切替スイッチを「通常」側または「登録消去」側にすると、受信器に "E" が点滅します。
- 1つの発信器を2コ以上の番号に登録することはできません。
- 同じ登録番号に複数の発信器を登録することができます。（120台まで）
- 登録番号を間違えた場合は、戻る 送るボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。（新しい番号に登録し直されます。）
- 集中発信器、集中消去器は複数台あってもすべて"H00"に登録されます。
- 受信器の報知音を変更した場合、登録時に鳴る音も変わります。
  ☞46ページ、65～70ページ
- 熱線センサー発信器を番号に登録することもできます。この場合、登録した後は、受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。（熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため）
- 小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器も使用できます。

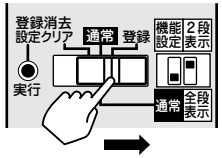
# 各発信器を番号呼出用に登録する　（2段表示）

**受信器のカバーをはずしてください。**

●2段表示設定 ☞ 23ページ



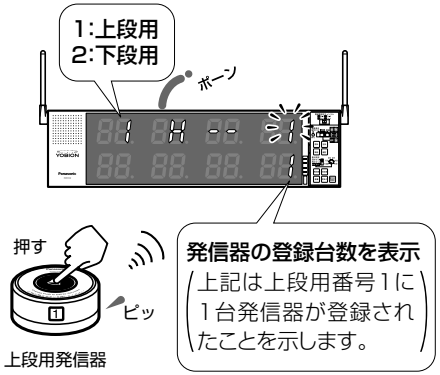

## 1 モード切替スイッチを［登録］側にする




➡表示窓に"1H--1"と表示され、上段用番号1への登録状態であることを示します。
右下には登録台数が表示されます。未登録の場合には"0"が表示されます。

上段登録

## 2 発信器（上段用1）の押ボタンを押す



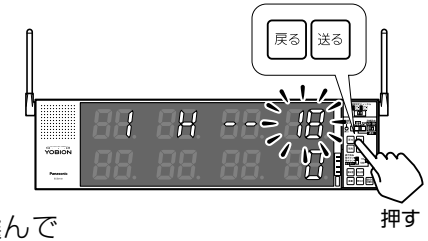

➡「ポーン」と鳴り、1の発信器が上段用「1」で登録されます。
➡表示が"1H--2"にくり上がります。

## 3 発信器（上段用2以降）の押ボタンを番号順に押す

➡番号順に登録されていきます。

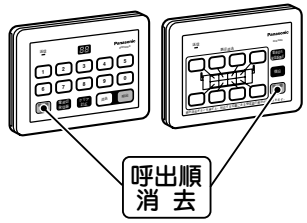
### 登録番号を選択する

登録させる番号を選びたい場合は、戻る 送る ボタンを使って、目的の番号を表示させてから発信器の押ボタンを押してください。




●上段用発信器は1H--1～1H--99から選んでください。（下段用発信器は2H--1～2H--99）

## 4 上段用集中発信器・上段用集中消去器の 呼出順消去 ボタンを押す




➡他の番号が表示されていても「ポーン」と鳴り、約1秒間"1H--00"と表示された後、番号表示に戻ります。
（複数台であっても区別なく"1H--00"で登録されます。下段用の場合は、"2H--00"と表示されます。）

●上段用の場合は受信器左上に"1"が点滅していることを確認してください。（下段用は"2"）

下段登録

## 5 送る ボタンを押して"2H--1"を表示させ、2～4と同様に下段用発信器の登録を行う

## 6 登録が終われば モード切替スイッチを［通常］側に戻す

**メモ**

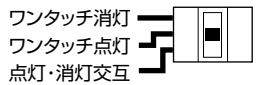
●発信器などが1台も登録されていない状態でモード切替スイッチを「通常」側または「登録消去」側にすると、受信器に "E" が点滅します。
●1つの発信器を2コ以上の番号に登録することはできません。
●同じ登録番号に複数の発信器を登録することができます。（120台まで）
●登録番号を間違えた場合は、戻る 送る ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度発信器の押ボタンを押してください。（新しい番号に登録し直されます。）
●集中発信器、集中消去器は複数台あってもすべて"1H--00"あるいは"2H--00"に登録されます。
●受信器の報知音を変更した場合、登録時に鳴る音も変わります。
☞46ページ、71～76ページ
●熱線センサー発信器を番号に登録することもできます。この場合、登録した後は、受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。（熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため）
●小電力型ワイヤレスコールシリーズの発信器も使用できます。

# 集中操作器を番号呼出用に登録する

**受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。**

**1** **集中操作器の動作切替スイッチを［ワンタッチ点灯］側にする**

●「ワンタッチ点灯」側にしないと、正しく登録できません。



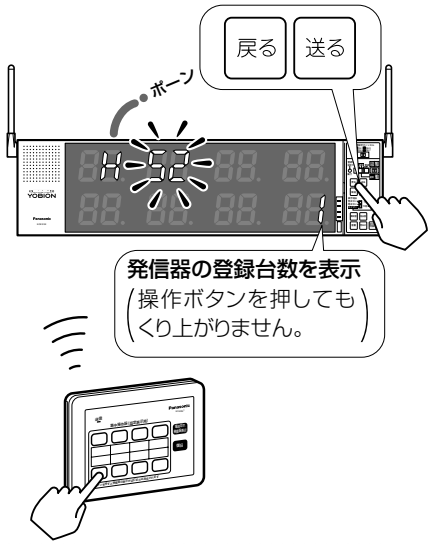

（集中操作器　裏側）

**2** **戻る** **送る** **ボタンで登録したい番号を表示させる**

("H1"～"H99")

**2段表示**

上段用への登録："1H--1"～"1H--99"
下段用への登録："2H--1"～"2H--99"




**3** **登録させたい集中操作器の操作ボタンを押す**

➡「ポーン」と鳴り、押した操作ボタンに表示番号が登録されます。

**4** **手順 2、3 をくり返して登録を行う**

**登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。**

**メモ**

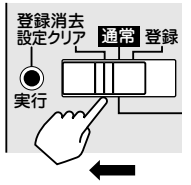
- 1つの操作ボタンを2コ以上の番号に登録することはできません。
- 8つの操作ボタンすべてを登録する必要はありません。
- 登録番号を間違えた場合は、戻る 送る ボタンで正しい番号を表示させてから、もう一度操作ボタンを押してください。（新しい番号に登録し直されます。）



# 登録を消去する

**1** **モード切替スイッチを［登録消去］側にする**

➡登録済みの番号が表示されます。



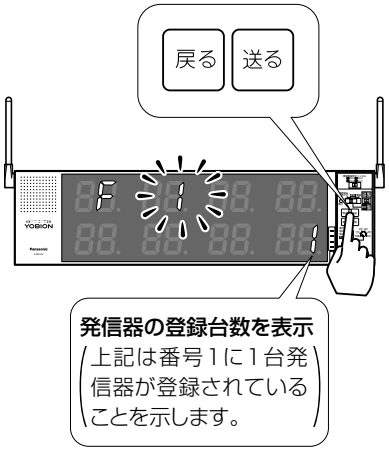

**2** **戻る** **送る** **ボタンを使って消したい内容を表示させる**

**全段表示**

☞表示リスト70ページ

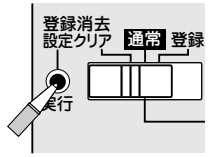
**2段表示**

☞表示リスト76ページ




**3** **消去** **スイッチを押す（約1秒）**

➡「ブー」音が鳴り、表示させた発信器の登録が消去されます。

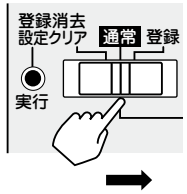



**4** **必要であれば、手順 2、3 をくり返して消去を行う**

次ページに続く

# 登録を消去する（つづき）

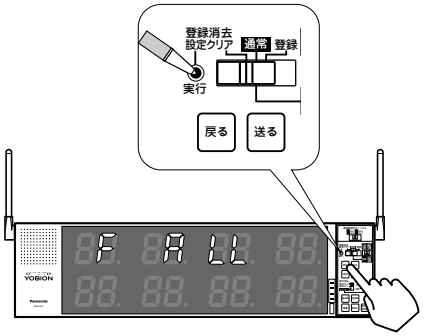
**5** **消去操作が終われば、モード切替スイッチを［通常］側にする**




**すべての登録を消去したい場合は**

すべての登録を消去する場合は、"F A LL"を 戻る 送る ボタンを使って表示させて 消去 スイッチを押してください。

➡「ブー」音が鳴り、表示窓に"E"が点滅してすべての登録が消去されます。






使いかた

# 発信器で呼び出す

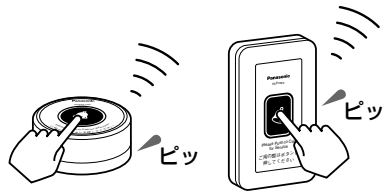
## 卓上型発信器、壁掛型発信器

**押ボタンを押す**

➡発信器に登録した番号が受信器に表示されます。

**2段表示**

登録した段に表示されます。




## 集中発信器

**1** **呼び出したい番号を選ぶ**

➡表示灯に表示されます。

**2** **呼出 ボタンを押す**

➡呼び出した番号が受信器に表示されます。

**2段表示**

登録した段に表示されます。

**(注) 番号を選んでから4秒以内に 呼出 ボタンを押してください。（約4秒後に表示灯の番号表示が消えます。）**

**■間違えたとき**

**クリア/復旧 ボタンを押す**

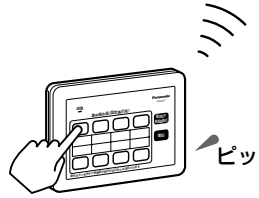
- 手順 1 であれば、表示灯の番号表示が消えます。
- 手順 2 であれば、 呼出 ボタンを押してから10秒以内なら受信器の表示を消灯できます。

## 集中操作器（番号呼出用）

**呼び出したい番号を登録した操作ボタンを押す**

**2段表示**

登録した段に表示されます。




**■間違えたとき**

**復旧 ボタンを押す**

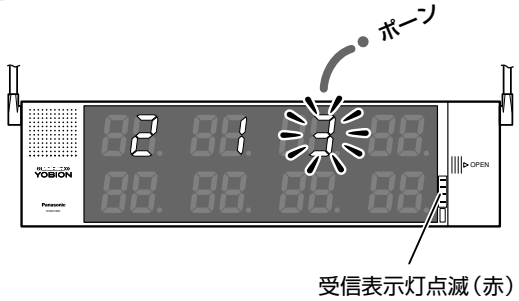
- 受信器の表示を消灯できます。

基本編

# 受信器に番号が表示される

## 呼出順表示（出荷時）

**左から呼び出した順に番号表示されます。**



➡呼出を受信すると、番号が約5秒間点滅し点灯に変わります。

**メモ**

- 報知音は変更できます。
  ☞ 全段表示 46ページ、65～70ページ　2段表示 46ページ、71～76ページ
- 報知音の鳴動回数は変更できます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ　2段表示 71～76ページ
- 呼出順に関係なく数字の小さい番号順に表示させることもできます。（番号順表示 ☞40ページ）
- 再呼出の点滅と区別するため、新着呼出受信時の点滅をしないようにすることもできます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ　2段表示 71～76ページ

## 再呼出表示

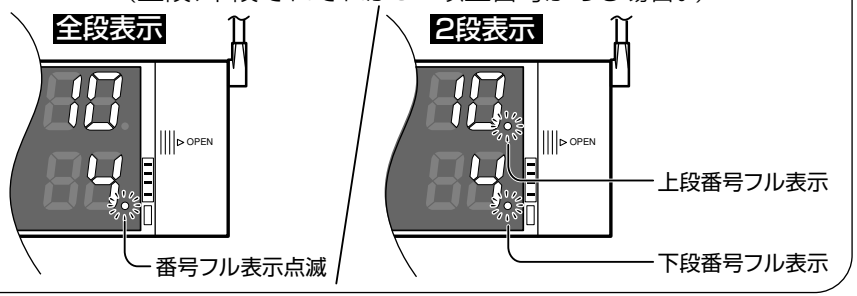
**同じ番号の発信器から2回以上呼び出されると、その番号が点滅し続けます。**

- 消灯するまで点滅し続けます。

**メモ**

- 再呼出時の点滅表示を継続しないようにすることもできます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ　2段表示 71～76ページ
- 5秒以内の同じ番号からの再呼出は受け付けません。（押し間違いによる再呼出表示を防ぐため）
- 一度に20コまで番号を記憶します。（全段表示 先着の8コが表示されます。2段表示 上段、下段に各先着4コが表示されます。）表示されている番号を消去（☞41～45ページ）するごとに最先着の番号が消えて、記憶されている番号が順に表示されます。
- 未表示の番号（9コ以上の番号）がある場合は、右下の「番号フル表示」が点滅します。

  2段表示 上下段それぞれで「番号フル表示」が点滅します。（上段、下段それぞれが5コ以上番号がある場合。）




## 番号順表示

**呼出順に関係なく数字の小さい番号順に表示させることができます。**

- 番号順表示をするには機能設定で「番号順表示」に設定する必要があります。（出荷時は、「呼出順表示」）
  ☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ

➡一番始めに呼び出された番号に「最先着表示」が点灯します。

基本編

# 受信器の番号表示を消去する

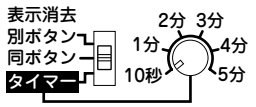
**番号を消去するには集中発信器、集中消去器、集中操作器を使う「別ボタン」、呼び出した発信器を押す「同ボタン」、設定した時間が経過すれば消える「タイマー」の3つの方法があります。**

- **品番ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の消去方法について** ☞45ページ

**2段表示** 下段は異なる消去方法に設定することができます。
☞71～76ページ

## 別ボタン消去（出荷時）

**表示消去スイッチを［別ボタン］側にする**




### 集中発信器

**1** **消去したい番号を選ぶ**
➡表示灯に表示されます。

**2** **消去ボタンを押す**
➡「ブー」音が鳴り、表示された番号が消えます。

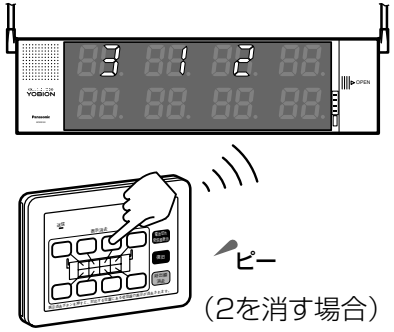
**2段表示** 集中発信器を登録した段のみの消去になります。

**■呼出順消去**
**呼出順消去ボタンを押すと、呼び出した順に番号が消えます。**
（ただし、呼出順消去ボタンでは優先呼出表示は消去できません。）
**2段表示** 集中発信器を登録した段のみの消去になります。

**■間違えたときは10秒以内に復旧ボタンを押す。**
- 手順 **1** であれば、表示灯の番号表示が消えます。
- 手順 **2** であれば、消去ボタンを押してから10秒以内なら受信器の表示を再表示できます。

### 集中消去器

**1** **表示順に対応した位置のボタンを押す**
➡「ブー」音が鳴り、位置に対応した番号が消えます。



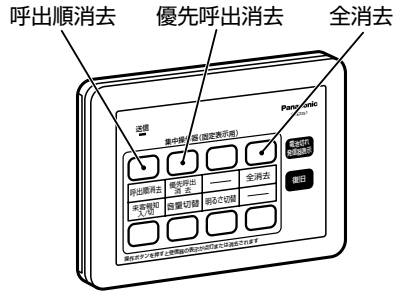



**■呼出順消去**
**呼出順消去ボタンを押すと、呼び出した順に番号が消えます。**
（ただし、呼出順消去ボタンでは優先呼出表示は消去できません。）
**2段表示** 集中消去器を登録した段のみの消去になります。

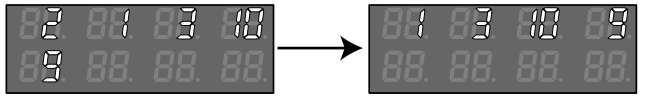
**■間違えたときは10秒以内に復旧ボタンを押す。**
- 受信器の表示を再表示できます。

### 集中操作器

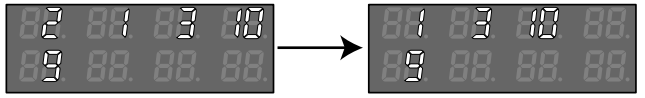
**遠隔操作用に登録した集中操作器で次のような消去ができます。登録については57ページを参照してください。**



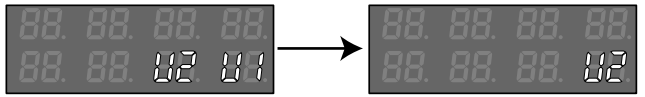

**呼出順消去：呼び出した順に番号を消します。**



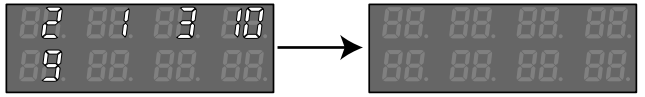
**2段表示 の場合の呼出順消去:**
**上段のみを呼び出した順に番号を消します。**



**優先呼出表示消去：優先呼出番号を消します。**



**全消去：すべての番号表示を消します。**



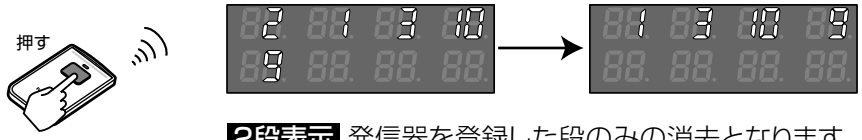
**■間違えたときは10秒以内に復旧ボタンを押す。**
- 受信器の表示を再表示できます。

次ページに続く

# 受信器の番号表示を消去する（つづき）

## 呼出順消去用発信器

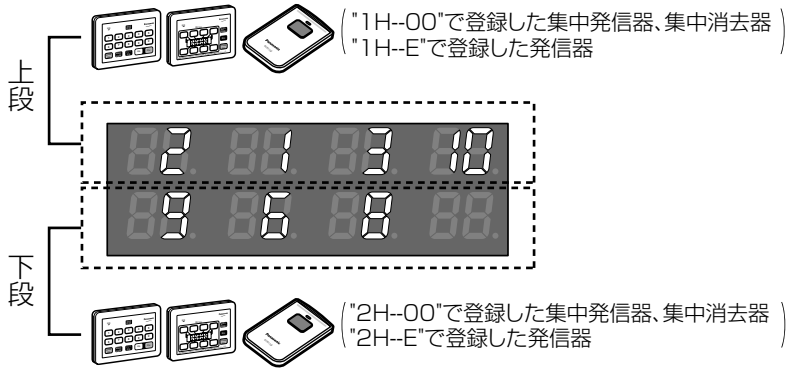
**呼出順消去用に登録した発信器で、呼び出した順に番号を消すことができます。登録については56ページを参照してください。**




**2段表示** 発信器を登録した段のみの消去となります。

### ■2段表示の消去方法について

- 2段表示設定でお使いの場合、発信器、集中発信器、集中消去器による消去および呼出順消去はそれぞれ登録した段に対してのみ行います。



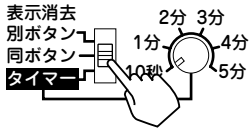

- 遠隔操作用に登録した集中操作器の呼出順消去は上段のみの消去を行います。

**メモ**

- 「別ボタン消去」設定時には発信器（呼出順消去用発信器以外）では消去できません。ただし、優先呼出表示は優先呼出消去用発信器で消去できます。
- 番号呼出用に登録した集中操作器では表示消去はできません。
- 消去音は変更できます。
  ☞ **全段表示** 46ページ、65～70ページ **2段表示** 46ページ、71～76ページ

## 同ボタン消去

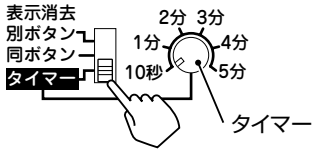
**表示消去スイッチを［同ボタン］側にする**




➡呼び出した番号に登録した発信器の押ボタンを再度押すと、「ブー」音が鳴り、その番号が消去されます。

## タイマー消去

**1 表示消去スイッチを［タイマー］側にする**




**2 消去時間をタイマーで設定する**

- 10秒、30秒、および1分～5分を30秒単位で設定できます。

  ➡設定した時間が経過すると、「ブー」音が鳴り、表示が自動的に消去されます。

**メモ**

- 「同ボタン消去」、「タイマー消去」設定時とも消去音は変更できます。
  ☞ **全段表示** 46ページ、65～70ページ **2段表示** 46ページ、71～76ページ
- 「同ボタン消去」、「タイマー消去」設定時も集中発信器、集中消去器、集中操作器、呼出順消去用発信器での消去ができます。

電池切れが近い発信器の表示を消去すると、1秒間点滅してから番号が消えます。点滅した番号の発信器は、電池を交換してください。
☞24～26ページ

# 受信器の番号表示を消去する(つづき)

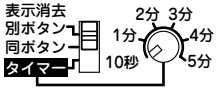
## ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器の操作方法

ECE3316・ECE3346・ECE3336シリーズの卓上型発信器では受信器の表示を消去することができます。以下の手順で消去操作をしてください。

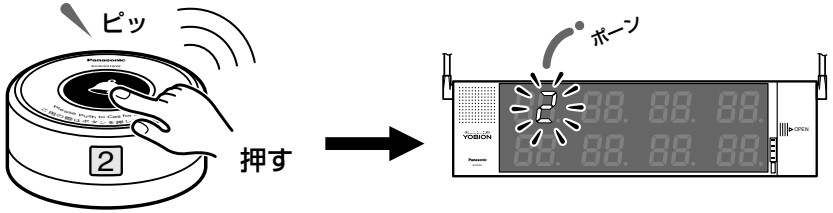
| | |
|---|---|
| ECE3316・3346・3336シリーズの卓上型発信器 | ECE3316W・ECE3316H・ECE3316A01<br>ECE3346□□□・ECE3336□□□<br>(□は色品番＝J01など) |

## 別ボタン消去

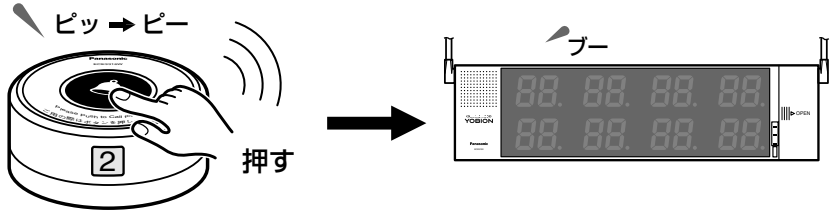
### 表示消去スイッチを［別ボタン］側にする




### 1 押ボタンを押す（呼び出す）




### 2 押ボタンを 1.5秒以上 押す（番号を消す）




注 連続音「ピー」音が鳴るまで押し続けてください。
押ボタンを離したときに番号が消えます。

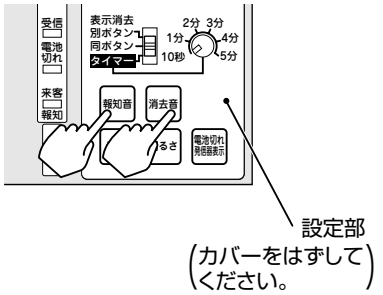


# 報知音/消去音を変更する

**呼出時の報知音、消去時の消去音をそれぞれ変更することができます。**

2段表示 ここでの設定は上段に対する設定です。下段は異なる設定にすることができます。☞71～76ページ

### ■受信器の 報知音 ボタン、消去音 ボタンを押してそれぞれを変更する




〈出荷時〉
報知音：「ポーン」音　消去音：「ブー」音

➡押すとまず現在の設定音で鳴り、押すごとに次のように音をくり返します。お好みの音を選んでください。

「ポーン」→「ピンポンA」→「ピンポンB」→「ポロロン」→「ブー」→「メロディA」→「メロディB」→「無音※」→「ポーン」→……くり返し
※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

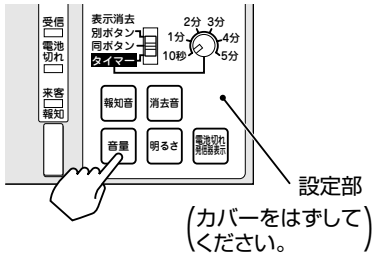
**メモ**

- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音に確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 鳴動回数を設定できます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ
- 優先呼出時の報知音･消去音も変更できます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ

# 音量を変更する

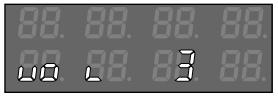
**報知音や消去音の音量を変更することができます。**

## ■受信器の音量ボタンを押して変更する




**〈出荷時〉**：音量「大」

**表示窓**



（例：音量「大」）

➡押すとまず現在の音量で鳴り、押すごとに次のように音量が変化します。
お好みの音量を選んでください。

「小（uo L 1）」→「中（uo L 2）」→「大（uo L 3）」
→「切（uo L OF F）※」「小（uo L 1）」→……くり返し

（ ）内＝表示窓の表示　　※「ピッ」と鳴りますが無音に設定されます。

**メモ**

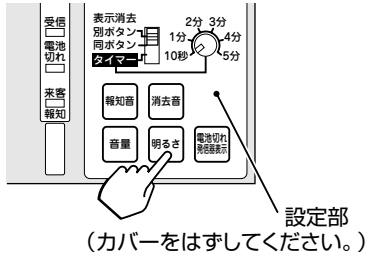
- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の音量に確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 遠隔操作用に登録した発信器でも音量を切り替えることができます。
  集中操作器 ☞57ページ
  スリー発信器 ☞58ページ
  卓上型・壁掛型発信器 ☞59ページ
- 増設スピーカーの音量は変わりません。
- 上段、下段、優先呼出、来客報知などの音量をそれぞれ個別に設定することはできません。



# 表示窓の明るさを変更する

**受信器の表示窓の明るさを変更することができます。**

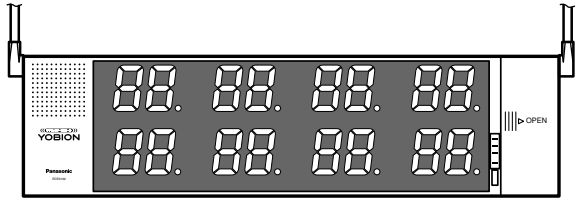
## ■受信器の明るさボタンを押して変更する




**〈出荷時〉**：明るさ100%（最大）

➡押すとまず現在の明るさで表示され、押すごとに4段階に明るさが変わります。
お好みの明るさを選んでください。

「明るさ25%」→「明るさ50%」→「明るさ75%」→「明るさ100%」
→「明るさ25%」→‥‥くり返し



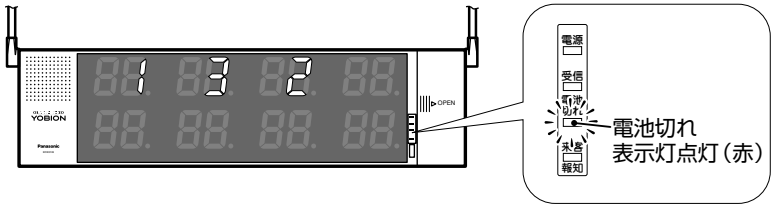

表示部のすべての番号表示が 88. と点灯して
明るさを示します。

**メモ**

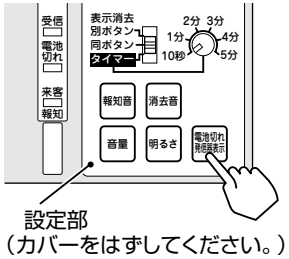
- 操作中に5秒以上間隔をあけると、選択中の明るさに確定されます。
- 表示窓に番号を表示しているときでも変更できます。
- 遠隔操作用に登録した発信器でも明るさを切り替えることができます。
  集中操作器 ☞57ページ
  スリー発信器 ☞58ページ
  卓上型・壁掛型発信器 ☞59ページ

# 電池切れの発信器を調べる

**電池切れが近い発信器がある場合、受信器の電池切れ表示灯が赤色点灯しますので、次の操作をしてください。**




## 1 受信器の 電池切れ発信器表示 ボタンを押す



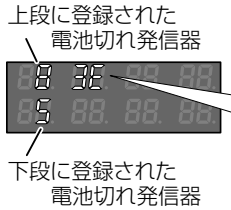

➡電池が切れかかっている発信器の番号が表示されます。

- 表示リスト
  ☞ 全段表示 70ページ、
  2段表示 76ページ

注 **集中発信器、集中操作器、集中消去器の 電池切れ発信器表示 ボタンを押しても表示できます。**

## 2 表示された番号の発信器の電池を交換する ☞24～26ページ

**2段表示**
発信器を登録した段に表示されます。




上下段の区別のない発信器は「上段」に表示されます。
☞ 76ページ「表示リスト」

## 3 電池を交換した発信器を押して、電池切れ表示灯が点灯しないことを確認する

**メモ**

- 電池切れが近い発信器の番号は、表示消去時に電池切れ表示灯とともに点滅し、電池切れをお知らせします。
- 番号が8コ表示され電池切れ表示灯が赤色点滅する場合は、表示されている番号のほかにも電池切れが近い発信器があります。もう一度 電池切れ発信器表示 ボタンを押すと、次の表示に切り替わります。



# 応 用 編

ワイヤレスサービスコールをより便利にお使いいただくための応用例を説明します。

■ 応用編のあらまし ☞51～52ページ

登 録

■ 熱線センサー発信器を来客報知用に登録する ☞53ページ
■ 発信器を優先呼出用に登録する ☞54ページ
■ 発信器を優先呼出消去用に登録する ☞55ページ
■ 発信器を呼出順消去用に登録する ☞56ページ
■ 集中操作器を遠隔操作用に登録する ☞57ページ
■ スリー発信器を遠隔操作用に登録する ☞58ページ
■ 発信器を遠隔操作用に登録する ☞59ページ

使いかた

■ 来客を報知する ☞60～61ページ
■ 優先呼出表示について ☞62ページ
■ 副表示器について ☞63ページ

# 応用編のあらまし

## ワイヤレスサービスコールをより便利にお使いいただくために、下記のような機能があります。

| 機　能 | 使いかた | 設定方法 | 登録方法 |
|---|---|---|---|
| 来客報知　*1 | ☞60～61ページ | 来客表示は<br>☞ 全段表示<br>65～70ページ<br>2段表示<br>71～76ページ | ☞ 53ページ |
| 優先呼出　*2 | ☞ 62ページ | ☞ 全段表示<br>65～70ページ<br>2段表示<br>71～76ページ | ☞ 54ページ |
| 優先呼出消去　*2 | ☞ 62ページ | | ☞ 55ページ |
| 遠隔操作　*3 | 集中操作器の消去は<br>☞ 42ページ | ―――― | ☞ 57～59ページ |
| 発信器による<br>呼出順消去 | ☞ 43ページ | ―――― | ☞ 56ページ |
| 副表示器について | ☞ 63ページ | ―――― | ―――― |

***1:来客報知**（来客を報知させるときに使う）

- お客様を熱線センサー発信器が検知すると、受信器から報知音が鳴ります。
  報知音とともに受信器に表示を出すこともできます。

【来客報知用発信器】

熱線センサー発信器

***2:優先呼出・優先呼出消去**（特別なお客様や特別な場所からの呼出・消去に使う）

- 「優先呼出」とは、お得意様やお誕生日祝いの方、またはトイレなど共用部からの呼出など、特別なお客様・場所の呼出用に割り当てた発信器からの呼出で、優先的に呼出表示します。この優先呼出番号を消去するには、「優先呼出消去」に登録した発信器から操作します。

【優先呼出用発信器・優先呼出消去用発信器】

卓上型発信器

壁掛型発信器

集中操作器

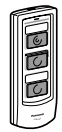
***3:遠隔操作**（報知音量や表示窓の明るさ、来客報知の入/切を遠隔操作）

- 「遠隔操作」とは、下記の機能設定を受信器の設定ボタンを使わずに、発信器や集中操作器、スリー発信器の押ボタンを押して、離れた場所から行う操作です。

  音　　量：受信器からの報知音の音量を調整する
  明 る さ：受信器の表示窓の明るさを調整する
  来客報知：来客報知するか、しないかを設定する
  （熱線センサー発信器または外部接点入力機器設置時）

**(注) 遠隔操作用として登録した集中操作器やスリー発信器は番号呼出用としては使用できません。**

【遠隔操作用発信器】



スリー発信器

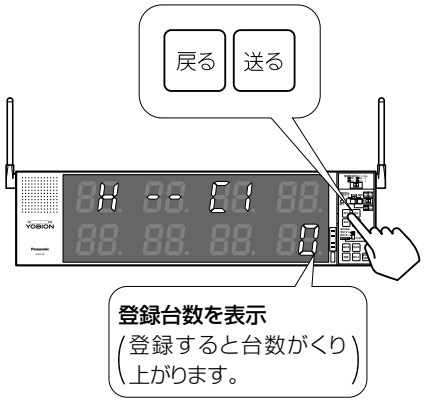
集中操作器

卓上型発信器

壁掛型発信器

# 熱線センサー発信器を来客報知用に登録する

受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。



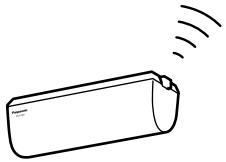

## 1 戻る 送るボタンで "H--C1"または"H--C2"を表示させる

- 熱線センサー発信器は複数台使用できますが、報知音を区別させたい場合は、それぞれ別の番号（C1またはC2）で登録してください。

## 2 熱線センサー発信器を動作させる

➡報知音が鳴り、熱線センサー発信器が登録されます。

〈出荷時〉
報知音：H--C1「ポロロン」
H--C2「ピンポン」



注 **登録した後は、受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻すまでは、熱線センサー発信器の電池を抜いておいてください。（熱線センサー発信器が動作して再登録されるのを防ぐため）**

受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。

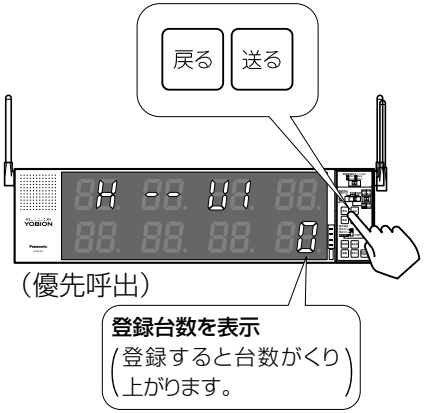
**メモ**

- 来客報知時の表示について ☞60～61ページ
- 熱線センサー発信器を番号表示用として使用する場合 ☞31～32ページ



# 発信器を優先呼出用に登録する

受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。

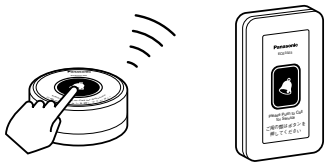



## 1 戻る 送るボタンで "H--U1"～"H--U8"の中から登録させたい番号を表示させる

- 8種類まで登録できます。

## 2 登録したい発信器あるいは集中操作器の押ボタンを押す

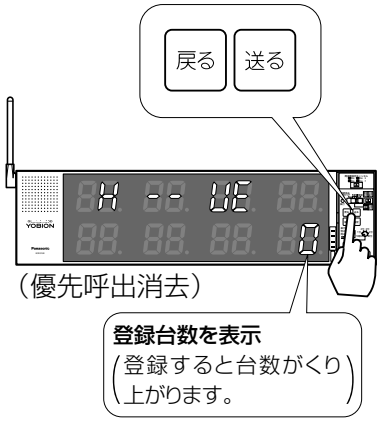
➡「プップー」音が鳴り、優先呼出用に登録されます。



# 発信器を優先呼出消去用に登録する

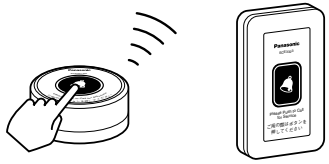
受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。

**1** 戻る 送る ボタンで"H--UE"を表示させる




**2** 登録したい発信器の押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、優先呼出消去用に登録されます。



登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。

**メモ**

- 遠隔操作用に登録した集中操作器でも、優先呼出消去できます。
☞57ページ

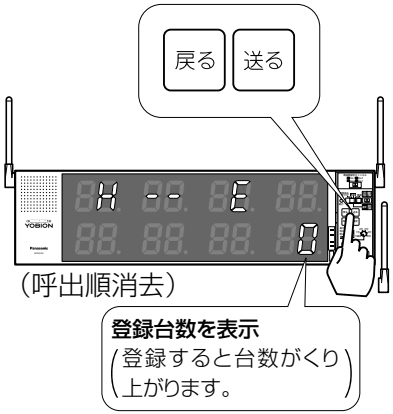


# 発信器を呼出順消去用に登録する

受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。

**1** 戻る 送る ボタンで"H--E"を表示させる

**2段表示**
上段用への登録：1H--E
下段用への登録：2H--E




**2** 登録したい発信器の押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、呼出順消去用に登録されます。

登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。

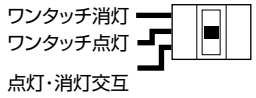
**メモ**

- 集中発信器、集中消去器の 呼出順消去 ボタン、および遠隔操作用に登録した集中操作器でも、呼出順消去ができます。
☞41～43ページ

# 集中操作器を遠隔操作用に登録する

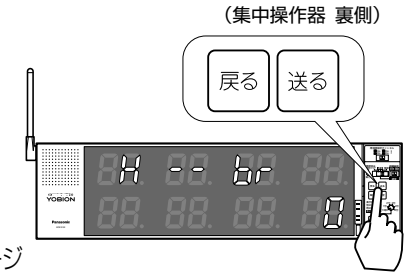
**受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。**

**1 集中操作器の動作切替スイッチを［ワンタッチ点灯］側にする**




- 「ワンタッチ点灯」側にしないと、正しく登録できません。

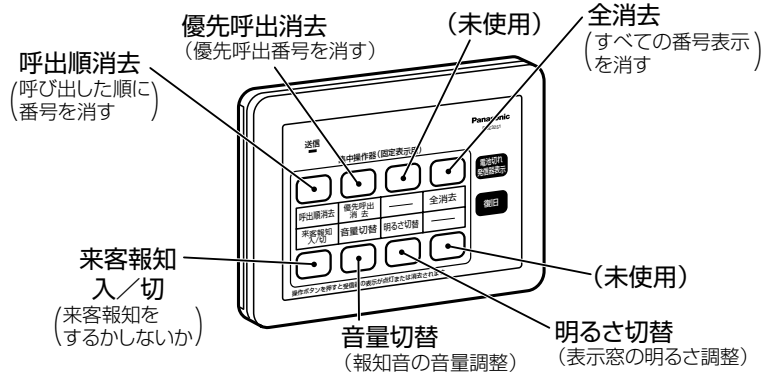
**2 戻る 送る ボタンで "H--CC""H--vo""H--br" のいずれかを表示させる**




- 表示リスト
  ☞ 全段表示 70ページ、2段表示 76ページ

**3 集中操作器の呼出順消去ボタン（左上）を押す**

➡「ポーン」と鳴り、約1秒間"H--0E"が表示され、以下のような機能が各操作ボタンに割り当てられます。（受信器右下に登録台数が表示されます。）




**登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。**

**メモ**

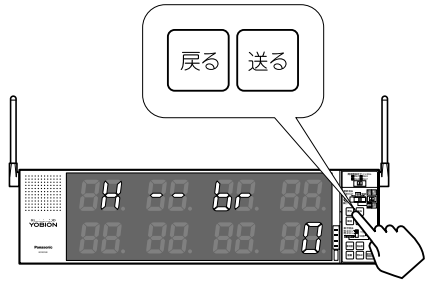
- 各ボタンの役割は固定です。変更はできません。
- 遠隔操作用に登録した集中操作器を番号呼出用に登録することはできません。遠隔操作用と番号呼出用の集中操作器は使い分けてください。
- 機能名を書いた遠隔操作表示ラベルを貼り付けてください。☞ 27ページ



# スリー発信器を遠隔操作用に登録する

**受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。**

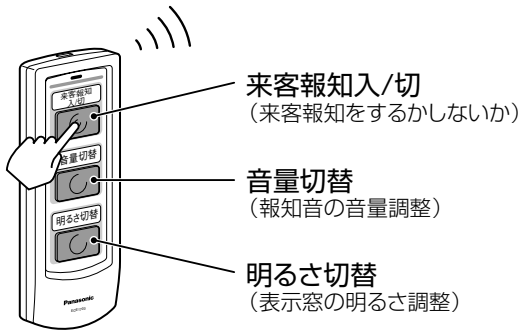
**1 戻る 送る ボタンで "H--CC" "H--vo" "H--br"のいずれかを表示させる**




- 表示リスト
  ☞ 全段表示 70ページ、2段表示 76ページ

**2 スリー発信器の来客報知入/切ボタン（一番上）を押す**

➡「ポーン」と鳴り、約1秒間"H--3E"が表示され、以下のような機能が各ボタンに割り当てられます。（受信器右下に登録台数が表示されます。）




**登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。**

**メモ**

- 各ボタンの役割は固定です。変更はできません。
- 機能名を書いた遠隔操作表示ラベルを貼り付けてください。☞ 27ページ

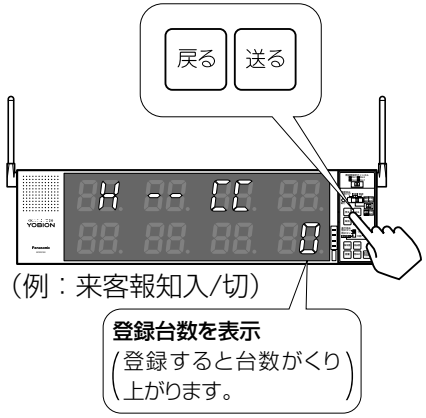
応用編

# 発信器を遠隔操作用に登録する

**受信器のモード切替スイッチが［登録］側であることを確認してください。**

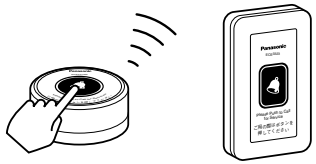
**1** 戻る 送る ボタンで
来客報知入/切 "H--CC"
音量切替 "H--vo"
明るさ切替 "H--br"
のうち、登録させたい機能を表示させる

- 表示リスト
  ☞ 全段表示 70ページ、
  2段表示 76ページ




**2** 登録したい発信器の押ボタンを押す

➡「ポーン」音が鳴り、選んだ機能が登録されます。



**3** 必要であれば手順 1 、 2 をくり返す

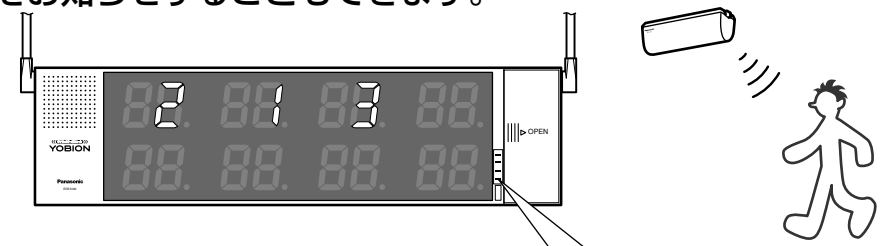
**登録操作がすべて完了したら受信器のモード切替スイッチを［通常］側に戻してください。**



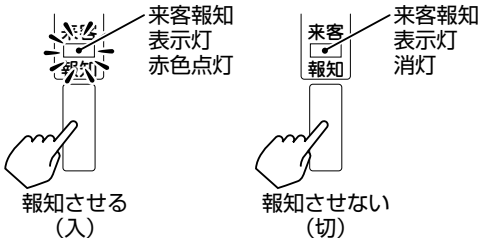
使いかた

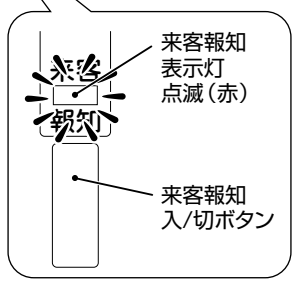
# 来客を報知する

**熱線センサー発信器を来客報知用に登録している場合、人を検知すると報知音が鳴ります。また、接点入力により来客報知をお知らせすることもできます。**




- 熱線センサー発信器が来客を検知すると、報知音が鳴り、来客報知表示灯が約5秒間赤色点滅し、その後、赤色点灯します。
- 来客報知入/切ボタンで報知させるかどうかを選ぶことができます。




- 報知音は来客センサー1が「ポロロン」、来客センサー2が「ピンポン（A）」、外部接点入力が「ピンポン（B）」です。（出荷時）

**メモ**

- 報知音は変更できます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ 2段表示 71～76ページ
- 来客を表示でも知らせることができます。☞61ページ
- 遠隔操作用に登録した発信器でも来客報知の入/切を切り替えることができます。
  集中操作器 ☞57ページ
  スリー発信器 ☞58ページ
  卓上型・壁掛型発信器 ☞59ページ
- 来客報知時に接点出力を出してチャイムなどを動作させることもできます。☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ

次ページに続く

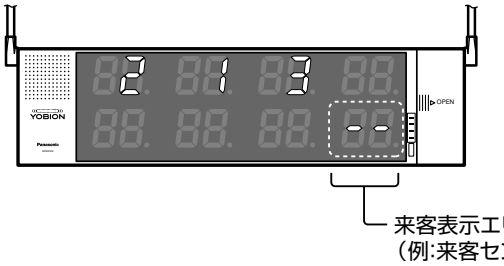
応用編

# 来客を報知する（つづき）

## 来客表示

**報知音とともに次のような表示を出すことができます。**

- 表示させるには、機能設定で接点入力、来客1検知、および来客2検知設定の「表示有無」を「あり」に設定する必要があります。（出荷時は「なし」）
  ☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ




➡表示は約5秒間で消えます。

来客センサー1

来客センサー2

外部接点入力

来客センサー1と来客センサー2が同時の場合

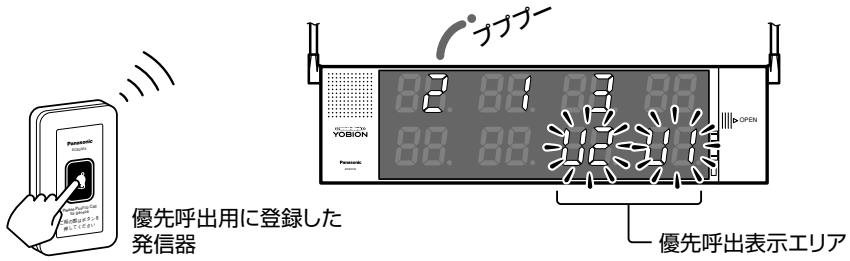
来客センサー1，来客センサー2と外部接点入力が同時の場合

**メモ**

- 来客表示エリアに番号表示があっても約5秒間割り込み表示されます。
- 優先呼出番号表示がある場合は、来客表示は表示されません。

# 優先呼出表示について

**通常の呼出とは区別して、優先的に表示されます。**



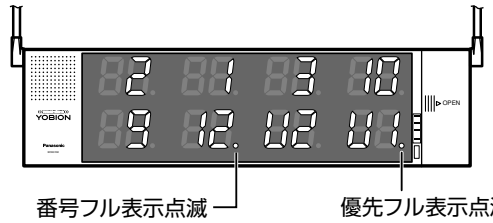

➡優先呼出番号（"U1","U2"…）が右下の優先呼出表示エリアに表示され（すでに表示があればその左）消去するまで点滅をくり返します。

➡優先呼出番号を消去するには、優先呼出消去用発信器を操作します。

**メモ**

- 優先呼出が3コ以上ある場合は、右下に「優先フル表示」が点滅します。
  （優先呼出は8コまで記憶でき、先順の2コが表示されます。）

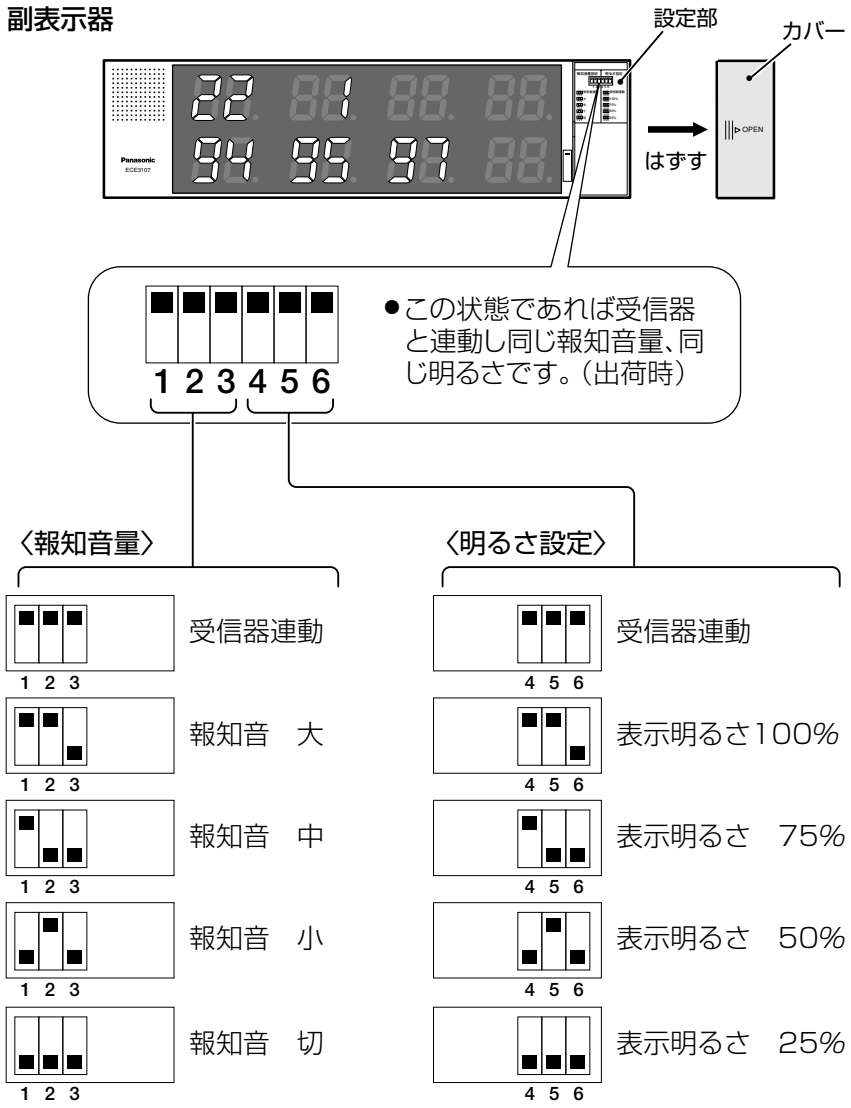
  番号表示にも未表示がある場合は右のように右下に「番号フル表示」が点滅します。




- 優先呼出時の報知音、消去音、消去方法は通常呼出と異なる設定にすることができます。
  ☞ 全段表示 65～70ページ、2段表示 71～76ページ

# 副表示器について

副表示器を2台まで接続することができます。受信器と同じ内容が表示/消去されますが、報知音量と表示明るさは副表示器で個別に設定することもできます。






# 機能設定

ワイヤレスサービスコールの機能をフルに活用するための、さまざまなくわしい設定ができます。
全段表示（2段表示でない場合）と2段表示の場合で設定表示などが異なりますので、該当するページをお読みください。

●2段表示設定について☞23ページ

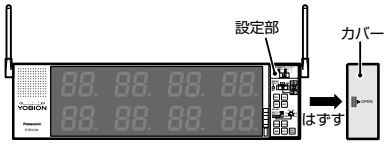
■全段表示の場合の機能設定 ☞65～70ページ

■2段表示の場合の機能設定 ☞71～76ページ

# 機能設定（全段表示）

**受信器のさまざまな機能を設定できます。**

- 設定部のカバーをはずしてください。



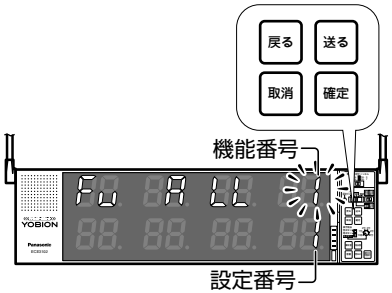

## 設定手順

### 1 機能設定スイッチを［機能設定］側にする

- モード切替スイッチは［通常］側にしてください。

**「機能設定」側：▮▯**

### 2 戻る 送るボタンで設定する機能を選ぶ（表示窓右上）



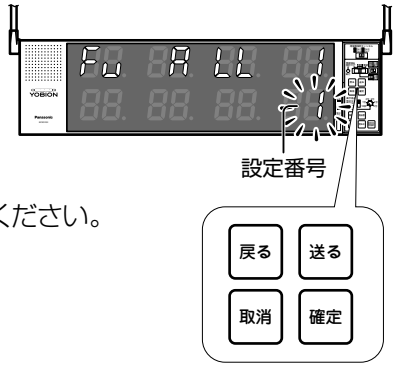

| 機能番号 | 機　能　名 | 内　　容 |
|---|---|---|
| 1 | 呼出鳴動回数 | 呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。 |
| 2 | 表示順選択 | 表示窓に表示される順番のモードを設定します。 |
| 3 | 再呼出表示の有/無 | 同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。 |
| 4 | 新着呼出表示点滅の有/無 | 新しく呼出を受けた番号を点滅させるかどうか設定します。 |
| 5 | 呼出時接点出力 | 発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。 |
| 7 | 優先呼出設定 | 優先呼出時の報知音、消去音、接点出力、消去方法を設定します。 |
| 8 | 接点入力設定 | 接点入力があった際の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |
| 9 | 来客1検知設定 | 来客センサー1で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |
| 10 | 来客2検知設定 | 来客センサー2で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |

### 3 決定ボタンを押す

➡ 設定番号が点滅し、設定状態であることを示します。

- 中止する場合は取消ボタンを押してください。

### 4 戻る 送るボタンで選んだ機能を設定する




設定内容について☞67～69ページ

- 中止する場合は取消ボタンを押してください。

### 5 確定ボタンを押す

➡ 設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が確定されます。

- 必要であれば、他の機能についても手順 2 ～ 5 をくり返してください。

### 6 設定が終われば機能設定スイッチを「通常」側に戻す（▯▮）

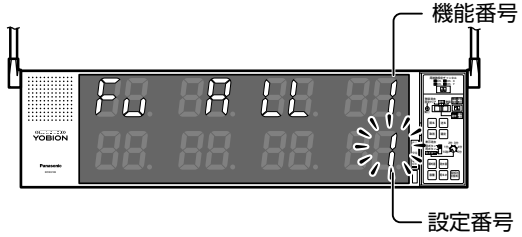
次ページに続く

詳細設定

# 機能設定（全段表示）（つづき）

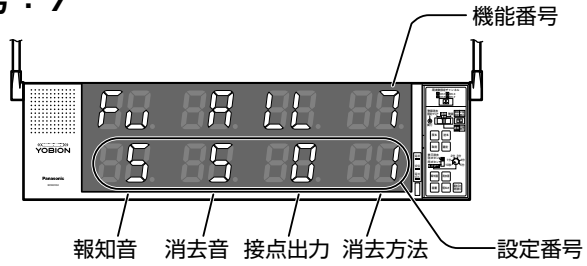
## 設定内容

### ■機能番号:1～5




| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 |
|---|---|---|
| 1 | 呼出鳴動回数 | **1**：1回（出荷時）　**3**：3回 |
| 2 | 表示順選択 | **1**：番号順　**2**：呼出順（出荷時） |
| 3 | 再呼出表示の有/無 | **0**：なし　**1**：あり（出荷時） |
| 4 | 新着呼出表示点滅の有/無 | **0**：なし　**1**：あり（出荷時） |
| 5 | 呼出時接点出力 | **0**：なし（出荷時）<br>**1**：約1秒<br>**3**：約3秒<br>**99**：表示連動<br>（受信器の表示窓に表示が出ている間、接点出力する） |

### ■機能番号：7



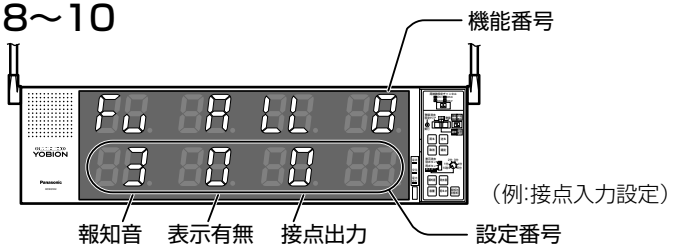

- 確定ボタンを押すごとに、次の設定項目に移ります（設定中＝点滅）。
- 一番右の項目で確定ボタンを押すまでは他の項目も確定しません。

| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 | |
|---|---|---|---|
| 7 | 優先呼出設定 | 報知音 | **0**：無音<br>**1**：ポーン<br>**2**：ピンポンA<br>**3**：ピンポンB<br>**4**：ポロロン<br>**5**：プップー（出荷時）<br>**6**：メロディA<br>**7**：メロディB |
| | | 消去音 | **0**：無音<br>**1**：ポーン<br>**2**：ピンポンA<br>**3**：ピンポンB<br>**4**：ポロロン<br>**5**：ブー（出荷時）<br>**6**：メロディA<br>**7**：メロディB |
| | | 接点出力 | **0**：なし（出荷時）<br>**1**：1秒<br>**3**：3秒<br>**99**：表示連動 |
| | | 消去方法 | **1**：別ボタン消去（出荷時）<br>**2**：同ボタン消去<br>**31**：タイマー消去（10秒）<br>**32**：タイマー消去（20秒）<br>**33**：タイマー消去（30秒）<br>**34**：タイマー消去（45秒）<br>**35**：タイマー消去（1分）<br>**36**：タイマー消去（2分）<br>**37**：タイマー消去（3分）<br>**38**：タイマー消去（4分）<br>**39**：タイマー消去（5分）<br>**99**：受信器と連動 |

次ページに続く

# 機能設定（全段表示）（つづき）

## ■機能番号：8～10




| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 | | |
|---|---|---|---|---|
| 8 | 接点入力設定 | 報知音 | **0**：無音<br>**1**：ボーン<br>**2**：ピンポンA（来客2検知出荷時）<br>**3**：ピンポンB（接点入力出荷時） | **4**：ポロロン（来客1検知出荷時）<br>**5**：ブー<br>**6**：メロディA<br>**7**：メロディB |
| 9 | 来客1検知設定 | 表示有無 | **0**：なし（出荷時） | **1**：あり |
| 10 | 来客2検知設定 | 接点出力 | **0**：なし（出荷時）<br>**1**：1秒 | **3**：3秒<br>**99**：表示連動 |

## 機能設定をすべて出荷状態に戻すには

**1** **機能設定スイッチを［機能設定］側にする**

- モード切替スイッチは［通常］側にしてください。

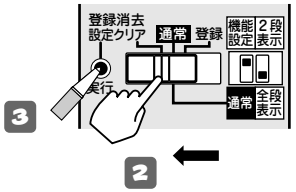
**「機能設定」側：**

**2** **モード切替スイッチを［設定クリア］側にする**

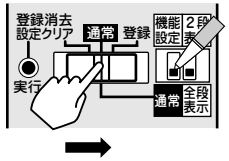
➡表示窓に"Fu ALL CLEAr"と表示されます。

**3** **消去スイッチを押す（約1秒）**

➡「ブー」音が鳴り、機能設定がすべて出荷状態に戻ります。（"Fu ALL CLEAr"は表示されたままです。）




**4** **機能設定スイッチを「通常」側に戻し（）、モード切替スイッチを［通常］側に戻す**




## ■表示リスト

●戻る 送る ボタンを押し続けると、この順番で表示窓に表示されます。ただし、登録消去時は、登録済みの発信器のみを表示します。また電池切れ発信器表示時は、電池切れが近い発信器のみを表示します。

| | 登録時 | 登録消去時 | 電池切れ表示時 |
|---|---|---|---|
| 番号呼出用発信器（1～99） | H 1 ～ 99 | F 1 ～ 99 | 1 ～ 99 |
| 集中発信器、集中消去器 | H00 | F00 | 00 |
| 呼出順消去用発信器 | H－－ E | F－－ E | E |
| 番号呼出用集中操作器 | | F－－0C | 0C |
| 来客センサー1（熱線センサー発信器） | H－－C1 | F－－C1 | C1 |
| 来客センサー2（熱線センサー発信器） | H－－C2 | F－－C2 | C2 |
| 優先呼出用発信器（U1～U8） | H－－U1 ～ U8 | F－－U1 ～ U8 | U1 ～ U8 |
| 優先呼出消去用発信器 | H－－UE | F－－UE | UE |
| 来客報知入/切用発信器 | H－－CC | F－－CC | CC |
| 音量切替用発信器 | H－－vo | F－－vo | vo |
| 明るさ切替用発信器 | H－－br | F－－br | br |
| 遠隔操作用集中操作器 | | F－－0E | 0E |
| 遠隔操作用スリー発信器 | | F－－3E | 3E |
| 使用しません | H－－ H | | |
| 登録全消去 | | F ALL | |

# 機能設定（2段表示）

**受信器のさまざまな機能を設定できます。**

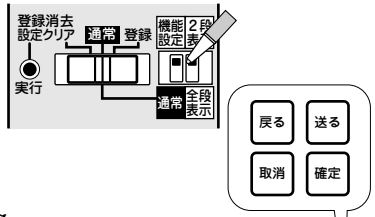
- 設定部のカバーをはずしてください。

## 設定手順

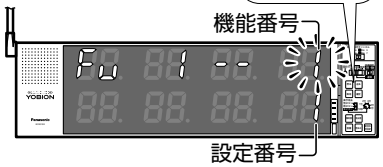
### 1 機能設定スイッチを［機能設定］側にする

- モード切替スイッチは［通常］側にしてください。

**「機能設定」側：**




### 2 戻る 送る ボタンで設定する機能を選ぶ（表示窓右上）



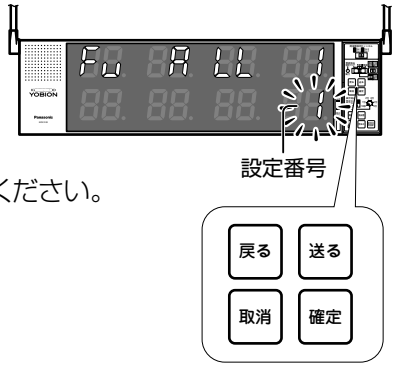

| 機能番号 | | 機　能　名 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 上段設定 | 1-1 | 呼出鳴動回数 | 呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。 |
| | 1-2 | 表示順選択 | 表示窓に表示される順番のモードを設定します。 |
| | 1-3 | 再呼出表示の有/無 | 同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。 |
| | 1-4 | 新着呼出表示点滅の有/無 | 新しく呼出を受けた番号を点滅させるかどうか設定します。 |
| | 1-5 | 呼出時接点出力 | 発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。 |
| 下段設定 | 2-1 | 呼出鳴動回数 | 呼出時の報知音の鳴る回数を設定します。 |
| | 2-2 | 表示順選択 | 表示窓に表示される順番のモードを設定します。 |
| | 2-3 | 再呼出表示の有/無 | 同じ番号の発信器が2回以上押されたときに点滅を続けるかどうかを設定します。 |
| | 2-4 | 新着呼出表示点滅の有/無 | 新しく呼出を受けた番号を点滅させかどうか設定します。 |
| | 2-5 | 呼出時接点出力 | 発信器からの呼出時にチャイムなど別の機器を動作させる出力信号を出すかどうか、あるいは出す時間を設定します。 |
| | 2-6 | 下段呼出設定 | 下段呼出時の報知音、消去音、消去方法を設定します。 |
| | 7 | 優先呼出設定 | 優先呼出時の報知音、消去音、接点出力、消去方法を設定します。 |
| | 8 | 接点入力設定 | 接点入力があった際の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |
| | 9 | 来客1検知設定 | 来客センサー1で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |
| | 10 | 来客2検知設定 | 来客センサー2で来客検知時の報知音、表示有無、接点出力を設定します。 |

### 3 確定 ボタンを押す

➡ 設定番号が点滅し、設定状態であることを示します。

- 中止する場合は 取消 ボタンを押してください。

### 4 戻る 送る ボタンで選んだ機能を設定する




設定内容について☞72～75ページ

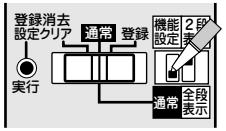
- 中止する場合は 取消 ボタンを押してください。

### 5 確定 ボタンを押す

➡ 設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が確定されます。

- 必要であれば、他の機能についても手順 2 ～ 5 をくり返してください。

### 6 設定が終われば機能設定スイッチを「通常」側に戻す（▯▮）




**設定内容**

**■機能番号:1−1～1−5（上段表示）**
**2−1～2−5（下段表示）**

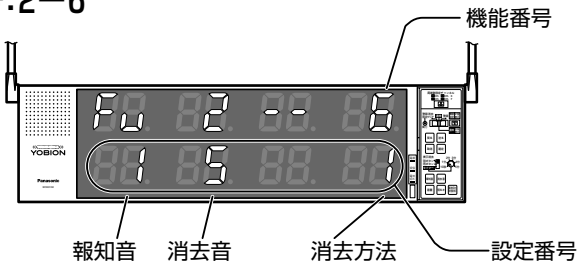
次ページに続く

詳細設定

# 機能設定（2段表示）（つづき）

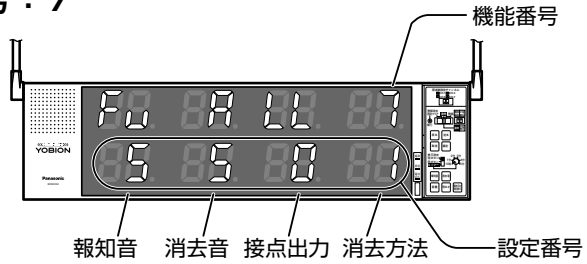
| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 |
|---|---|---|
| 1－1<br>2－1 | 呼出鳴動回数 | 1：1回（出荷時）　3：3回 |
| 1－2<br>2－2 | 表示順選択 | 1：番号順　2：呼出順（出荷時） |
| 1－3<br>2－3 | 再呼出表示の有/無 | 0：なし　1：あり（出荷時） |
| 1－4<br>2－4 | 新着呼出表示点滅の有/無 | 0：なし　1：あり（出荷時） |
| 1－5<br>2－5 | 呼出時接点出力 | 0：なし（出荷時）<br>1：約1秒<br>3：約3秒<br>99：表示連動<br>（受信器の表示窓に表示が出ている間、接点出力する） |

## ■機能番号:2−6




| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 | | |
|---|---|---|---|---|
| 2−6 | 下段呼出設定 | 報知音 | 0：無音<br>1：ポーン（出荷時）<br>2：ピンポンA<br>3：ピンポンB<br>4：ポロロン | 5：ブー<br>6：メロディA<br>7：メロディB<br>99：上段と連動 |
| | | 消去音 | 0：無音<br>1：ポーン<br>2：ピンポンA<br>3：ピンポンB<br>4：ポロロン | 5：ブー（出荷時）<br>6：メロディA<br>7：メロディB<br>99：上段と連動 |
| | | 消去方法 | 1：別ボタン消去（出荷時）<br>2：同ボタン消去<br>31：タイマー消去（10秒）<br>32：タイマー消去（20秒）<br>33：タイマー消去（30秒）<br>34：タイマー消去（45秒） | 35：タイマー消去（1分）<br>36：タイマー消去（2分）<br>37：タイマー消去（3分）<br>38：タイマー消去（4分）<br>39：タイマー消去（5分）<br>99：上段と連動 |

## ■機能番号：7




- 確定ボタンを押すごとに、次の設定項目に移ります（設定中＝点滅）。
- 一番右の項目で確定ボタンを押すまでは他の項目も確定しません。

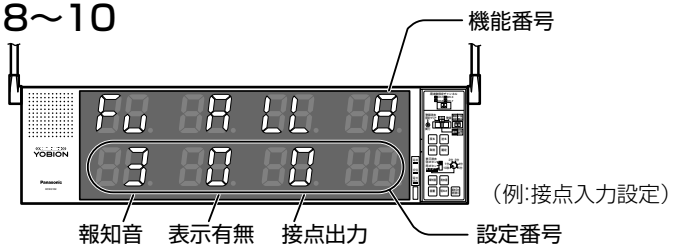
| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 | | |
|---|---|---|---|---|
| 7 | 優先呼出設定 | 報知音 | 0：無音<br>1：ポーン<br>2：ピンポンA<br>3：ピンポンB | 4：ポロロン<br>5：プップー（出荷時）<br>6：メロディA<br>7：メロディB |
| | | 消去音 | 0：無音<br>1：ポーン<br>2：ピンポンA<br>3：ピンポンB | 4：ポロロン<br>5：ブー（出荷時）<br>6：メロディA<br>7：メロディB |
| | | 接点出力 | 0：なし（出荷時）<br>1：1秒 | 3：3秒<br>99：表示連動 |
| | | 消去方法 | 1：別ボタン消去（出荷時）<br>2：同ボタン消去<br>31：タイマー消去（10秒）<br>32：タイマー消去（20秒）<br>33：タイマー消去（30秒）<br>34：タイマー消去（45秒） | 35：タイマー消去（1分）<br>36：タイマー消去（2分）<br>37：タイマー消去（3分）<br>38：タイマー消去（4分）<br>39：タイマー消去（5分）<br>99：上段と連動 |



次ページに続く

# 機能設定（2段表示）（つづき）

## ■機能番号：8～10




| 機能番号 | 機 能 名 | 設 定 番 号 | | |
|---|---|---|---|---|
| 8 | 接点入力設定 | 報知音 | 0：無音<br>1：ポーン<br>2：ピンポンA（来客2検知出荷時）<br>3：ピンポンB（接点入力出荷時） | 4：ポロロン（来客1検知出荷時）<br>5：ブー<br>6：メロディA<br>7：メロディB |
| 9 | 来客1検知設定 | 表示有無 | 0：なし（出荷時） | 1：あり |
| 10 | 来客2検知設定 | 接点出力 | 0：なし（出荷時）<br>1：1秒 | 3：3秒<br>99：表示連動 |

## 機能設定をすべて出荷状態に戻すには

**1** **機能設定スイッチを［機能設定］側にする**

- モード切替スイッチは［通常］側にしてください。

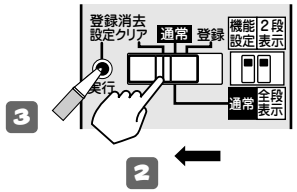
**「機能設定」側：**

**2** **モード切替スイッチを［設定クリア］側にする**

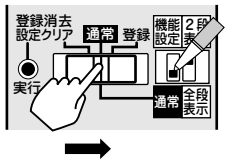
➡表示窓に"Fu ALL CLEAr"と表示されます。

**3** **消去スイッチを押す（約1秒）**

➡「ブー」音が鳴り、機能設定がすべて出荷状態に戻ります。（"Fu ALL CLEAr"は表示されたままです。）




**4** **機能設定スイッチを「通常」側に戻し（）、モード切替スイッチを［通常］側に戻す**






## ■表示リスト

●戻る 送る ボタンを押し続けると、この順番で表示窓に表示されます。ただし、登録消去時は、登録済みの発信器のみを表示します。また電池切れ発信器表示時は、電池切れが近い発信器のみを表示します。

| | | 登録時 | 登録消去時 | 電池切れ表示時 |
|---|---|---|---|---|
| 上段用 | 番号呼出用発信器（1～99） | 1 H－－ 1～99 | 1 F－－ 1～99 | 1～99（上段に表示） |
| 上段用 | 集中発信器、集中消去器 | 1 H－－00 | 1 F－－00 | 00（上段に表示） |
| 上段用 | 呼出順消去用発信器 | 1 H－－ E | 1 F－－ E | E（上段に表示） |
| 下段用 | 番号呼出用発信器（1～99） | 2 H－－ 1～99 | 2 F－－ 1～99 | 1～99（下段に表示） |
| 下段用 | 集中発信器、集中消去器 | 2 H－－00 | 2 F－－00 | 00（下段に表示） |
| 下段用 | 呼出順消去用発信器 | 2 H－－ E | 2 F－－ E | E（下段に表示） |
| | 番号呼出用集中操作器 | | F －－ 0C | 0C（上段に表示） |
| | 来客センサー1（熱線センサー発信器） | H －－ C1 | F －－ C1 | C1（上段に表示） |
| | 来客センサー2（熱線センサー発信器） | H －－ C2 | F －－ C2 | C2（上段に表示） |
| | 優先呼出用発信器（U1～U8） | H －－ U1～U8 | F －－ U1～U8 | U1～U8（上段に表示） |
| | 優先呼出消去用発信器 | H －－ UE | F －－ UE | UE（上段に表示） |
| | 来客報知入/切用発信器 | H －－ CC | F －－ CC | CC（上段に表示） |
| | 音量切替用発信器 | H －－ vo | F －－ vo | vo（上段に表示） |
| | 明るさ切替用発信器 | H －－ br | F －－ br | br（上段に表示） |
| | 遠隔操作用集中操作器 | | F －－ 0E | 0E（上段に表示） |
| | 遠隔操作用スリー発信器 | | F －－ 3E | 3E（上段に表示） |
| | 使用しません | H －－ H | | |
| | 登録全消去 | | F ALL | |

# 仕　様

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール受信器（マルチタイプ）（ECE3102K）

**屋内用**

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | AC100V　50/60Hz |
| 消費電力 | 全表示時　14W　待機時　3W |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 電波の到達距離 | 障害物のない場所での水平見通し距離約100m<br>（周囲環境により異なります。） |
| 呼出音量 | 70dB以上（前方1m） |
| 音量調節幅 | 大－小：約24dB（3段階） |
| 音色 | 「ポーン」「ピンポンA」「ピンポンB」「ポロロン」<br>「ブー（優先呼出以外）」「メロディA」<br>「メロディB」「無音」「プププー（優先呼出）」 |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ:約120mm※　幅:約460mm　奥行:約48mm<br>（※アンテナを伸ばした状態/高さ:約215mm） |
| 質量 | 約1.2kg |

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器

（ECE3313W ECE3313H ECE3313A01<br>ECE3316W ECE3316H ECE3316A01）

**屋内用**

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時　10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 押しボタン押下時:「ピッ」音<br>長押し時:「ピー」音（ECE3316品番のみ） |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ：約38mm　幅：約Φ80mm |
| 質量 | 約100g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレス発信器ファンシー

（ECE3342□□□　ECE3346□□□）（□は色番号=J01など）

## ■小電力型ワイヤレス発信器みやび

（ECE3332□□□　ECE3336□□□）（□は色番号=B02など）

**屋内用**

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時　10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 押ボタン押下時:「ピッ」音<br>長押し時:「ピー」音（ECE3336·ECE3342品番のみ） |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | ファンシー/高さ:約36mm　幅:約93mm　奥行:約53mm<br>みやび/高さ:約33mm　幅:約60mm　奥行:約60mm |
| 質量 | 約60g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール壁掛型発信器（ECE3323）

**屋内用**

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時　10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 「ピッ」音 |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ：約120mm　幅:約70mm　奥行:約21mm |
| 質量 | 約100g（電池は含みません。） |

# 仕　様（つづき）

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（メニュースタンド付）（ECE3723W）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時 10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 「ピッ」音 |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 卓上型発信器（取付時）/高さ:約47mm　幅:約φ80mm<br>メニュースタンド/高さ:約98mm　幅:約165mm　奥行:約143mm） |
| 質量 | 約320g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール卓上型発信器（ナプキンスタンド付）（ECE3713W）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時 10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 「ピッ」音 |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（40回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 卓上型発信器（取付時）/高さ:約47mm　幅:約φ80mm<br>ナプキンスタンド/高さ:約99mm　幅:約98mm　奥行:約120mm） |
| 質量 | 約220g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール集中発信器（ECE3201K）
## ■小電力型ワイヤレスサービスコール集中消去器（ECE3206）
## ■小電力型ワイヤレスサービスコール集中操作器（固定表示タイプ用）（ECE3251）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　100mA以下　　待機時　10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 「ピッ」音 |
| 電源 | 単3形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（300回/1日）（アルカリ乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ:約120mm　幅:約162mm　奥行:約22mm |
| 質量 | 約200g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレスサービスコール副表示器（マルチタイプ）（ECE3107）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | AC100V　50/60Hz |
| 消費電流 | 全表示時 9W　待機時 2W |
| 使用周囲温度 | 0℃～+40℃ |
| 寸法 | 高さ:約120mm　幅:約460mm　奥行:約48mm |
| 質量 | 約1.2kg |

# 仕　様（つづき）

## ■小電力型ワイヤレスコール スリー発信器（ECE1703P）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | 3.0V |
| 動作電圧範囲 | 2.2V～3.5V |
| 消費電流 | 動作時　50mA以下　待機時 10μA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※周波数設定スイッチで選択 |
| 送信出力 | 1mW　+20% −50% |
| 操作音色 | 「ピッ」音 |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 |
| 電池寿命 | 約1年（10回/1日）（マンガン乾電池使用時） |
| 使用温度範囲 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ:約170mm　幅:約60mm　奥行:約21mm<br>（ホルダーに入れた状態/高さ:約172mm　幅:約65mm　奥行:約28mm） |
| 質量 | 約110g（電池は含みません。） |

## ■小電力型ワイヤレス用アンテナ（ECE3501）

屋内用

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | DC12V |
| 消費電流 | 100mA以下 |
| 使用周波数 | CH.1（426.0250）MHz<br>CH.3（426.0500）MHz<br>CH.5（426.0750）MHz<br>CH.7（426.1000）MHz<br>の1波　※受信器により自動設定 |
| 使用周囲温度 | 0℃～＋40℃ |
| 寸法 | 高さ:約240mm※　幅:約150mm　奥行:約31mm<br>（※アンテナを伸ばした状態/高さ:約335mm） |
| 質量 | 約500g |



# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

**転居や贈答品などでお困りの場合は…**

- 修理は、サービス会社・販売会社「修理ご相談センター」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

**■保証書（別添付）**

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

**保証期間:お買い上げ日から本体1年間**

**■補修用性能部品の保有期間　7年**

当社は、この小電力型ワイヤレスサービスコールの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

**■修理を依頼されるとき**

別紙の「異常時の点検一覧表」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずサービスコール受信器の電源スイッチを「切」側にし、電源コードを使用している場合は電源プラグを抜いて、ご使用を中止してから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

| ご連絡いただきたい内容 | | | |
|---|---|---|---|
| 製品名 | 小電力型ワイヤレス<br>サービスコール（マルチタイプ） | お買い上げ日 | 年　月　日 |
| 品番 | | 故障の状況 | できるだけ具体的に |

## 愛情点検　長年ご使用のサービスコール受信器の点検を!

| こんな症状はありませんか | ●電源を入れても動かないことがある。<br>●こげくさい臭いや異常な音、振動がする。<br>●その他の異常や故障がある。 |
|---|---|

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、電源スイッチを「切」側にし、電源コードを使用している場合は電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便　利　メ　モ　（おぼえのため、記入されると便利です。）

| お買い上げ日 | 年　月　日 | 品　番 | |
|---|---|---|---|
| 販　売　店　名 | 電話（　　）　　ー | | |
| お客様ご相談窓口 | 電話（　　）　　ー | | |

パナソニック電工株式会社　HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008
8A2 A70 00003　K0903-21208Mj